

第九十回
帝國議會
貴族院

東京都制の一部を改正する法律案特別委員會議事速記録第二號

付託議案

○東京都制の一部を改正する法律案

○市制の一部を改正する法律案

○町村制の一部を改正する法律案

○府縣制の一部を改正する法律案

○衆議院議員選舉人名簿等の臨時特例に關する法律案

昭和二十一年九月九日(月曜日)午前
十時七分開會

○委員長(白根竹介君) 是ヨリ開會致シマス、本日ハ「東京都制の一部を改正する法律案」外三件、諸リ地方自治ニ關係スル法律案ヲ全部一括シマシテ、全般的ナ質問ヲ御願ヒ致シマス

○子爵團圓篤彦君 總括的ノ質疑トシテハドウカト思フノデゴザイマスケレドモ、後デ伺ヒタイト思ヒマスル質疑ノ前提トシテ御伺シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ知事、市長ノ公選、又府縣會議員ノ選舉、更ニ市町村會議員ノ選舉ト云フヤウニ、次々ニ續イテ施行サレル譯デアリマスルガ、是等ノ選舉期日ハドウ云フ手續デ行ハレルノデアリマスルカ、新聞ニ一昨日デシタカチヨウト出テ居ッタヤウデアリマスガ、ドウ云フ御豫定デアリマスルカ、チヨウト前提トシテ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 選舉ガ何時頃行ハマスカ、又行フト致シマシテドウ云フ順序デ致シマスカト云フコトニ付キマシテ、實ハマダハツキリシタ見當ラ付ケ得ルニ至ッテ居ナイノデアリマス、ト申シマスノハ、今茲ニ御審議中ノ本案ガ何時帝國議會デ成立スルカ

ト云フコトモ、實ハハツキリト致サナイ次第デアリマス、併シ現在ノ會期ハ一應此ノ月ノ二十七日ト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ會期中迄ニハ、成立ラ致スト云フコトニナリマス、直チニ附屬ノ施行勅令モ併セマシテ、改正法ヲ公布スル、是ハドシナニ急ギマシテモ、十月一日前後ト云フ位ニシカ運ビ得ナイト思ヒマス、サウナリマス

ト、ソレヲ公布致シマシテ、既ニ色々準備的ナ措置ハ執ッテ居リマスガ、十月五日位ヲ名簿ノ調製期日ト致シマシテ、サウシテ女子ニ迄選舉權ヲ與ヘル非常ニ擴張サレタ名簿ニナリマス、之ヲ調製致シマシテ、確定致シマスニ付キマシテハ、從來ノヤリ方デハ凡ソ九十日掛ツテ居ルノデアリマス、併シ出來ルデケ期日ヲ縮メマシテモ、一箇月ヲ切詰メルト云フコトハナカク、困難デアリマス、併シ此ノ際大イニ手順ヲ好クシマシテ、五十日ナラバドウニカ處置ガ出來ル、固ヨリソレニ付キマシテハ、今カラ相當ニ手配ラシナケレバ完全ニ行カナイト思ヒマス、サウナリマス

ト、十月五日カラ始マリマシテ、十一月三十日、サウナリマス、ソレ以降デアリマセスト選舉ヲ執行スル譯ニハ參リマセヌ、サウシテハ選舉ノ告示ノ期間等ニ於キマシテ、段々差違ガゴザイマス、町村會ニ於キマシテハ最も短クテ行ヘル、ソレカラ府縣知事ニ至リマシテハ、相當早ク告示シナケレバ

ナラヌコトニ法律デナツテ居ル、尙又府縣知事ニ付キマシテハ、一人ノ者ヲ選ブト致シマシテ、衆議院ノ改正案ニ依リマス、最低得票數ガ八分ノ三ト云フ相當高率ナモノヲ要求サレテ居リマス、競争ガ激甚ニナリマス、八分ノ三以上ノ得票ガナイト云フコトニナリマス、決選投票モヤラナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、是ハ相當長イ間選舉ニ掛カルト云フヤウナコトガゴザイマス、ソレカラ一面ニ於キマシテハ、時恰モ新年ニ遭遇致シマス、ソレカラ農村デゴザイマス、爾正月ニモブツカルト云フヤウナコトモゴザイマス、ソレカラ又何ニ致セ地方ノ重大ナ政治問題デゴザイマス、是等ヲ如何ナル組合セデ、下ノ時期ニヤルカト云フコトニ付キマシテハ、單ニ内務省ノミナラズ、是ハ政府全體トシテ十分審議シナケレバナラヌ點モゴザイマス、大分重大ナ問題デアリマス、只今確定致シテ居リマセヌガ、一應此ノ月中位ニ法律案ガ成立スルト云フ豫想ノ下ニ案ヲ作リマシテ、閣議デモ一ツ是ハ審議シテ、早ク政府トシテ方針ヲ決メタイト云フヤウニ今手順中デゴザイマシテ、若シ順調ニ參リマスレバ、明日ノ閣議アタリデ話ツケマシテ、御話ヲ此處デハツキリ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、先日新聞ニ出テ居リマシタモノハ是ハ地方廳ヲ督シマシテ、今カラ内々準備ヲ始メルト致シマシテ、サウナリマス、ト一應ノ見當デモ申サナケレバ話ガ進ミマセヌカラ、是ハ地方局限リニ

於キマシテ事務的ニ一應ノ豫定ヲ立ツタノデアリマス、其ノ話ハ會議デモ内々審致シタサウデアリマス、ソレガドウ云フ都合デアリマス、カ新聞ニ載ッタト云フ次第デアリマス

○子爵團圓篤彦君 只今内務大臣ノ御說明ニ依リマス、十月五日ヲ名簿調製ノ期日トシテ、十一月三十日ニ確定スルト云フ御話デアリマス、又準備スルノ五十日掛カルト云フヤウナ何レモ色々御事情上、短期間ニ此ノ選舉ヲ施行スルト云フヤウナコトニナツタノデアリマス、果シテ一時ニ是等ノ多數ノ選舉ヲヤリマス其ノ準備ガ、萬遺漏ナクヤレルカドウカ、而モ此ノ短期間ニ準備ガ出來ルカドウカト云フ點ニ付テ實ハ多少疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、殊ニ有權者數ガ非常ニ激増致シマシテ、知事ノ公選ト云フヤウナ全ク我が國ニ於キマシテハ、經驗ノナイ選舉ガ行ハレルノデアリマス、恐ラク其ノ間色々間違ヒガ起リハシナイカト思ヒマス、現ニ先般ノ衆議院選舉ニ於テサヘ、多量ノ脱漏、名簿漏ガ隨分ニアツタノデアリマス、又此ノヤウナ問題モ起ル處ガ十分ニアルト考ヘラレルノデアリマス、就キマシテハ今同ノ是等ノ選舉ガ短期間ニ於テオヤリニナルト云フコトニ付キマシテハ、特ニ格別御考慮ヲ御拂ビニナツテ居ルコトト存ジマスガ、何カ之ニ對スル特別ノ準備ト御用意ガアリマスルカドウカ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 誠ニ御尤モナ御尋デゴザイマスガ、實ハ衆議院議員ニ付キマシテハ、既ニ擴張サレタ選舉權ノ下デ今春ニ總選舉ヲ行ヒマシタ、地方議會ニ付キマシテハ現在ノ處、制限サレタ選舉權ノ下デ選舉ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ速カニ新時代ニ即シタ行キ方ヲスル必要ガアルト思フノデアリマス、尙又現在ノ地方議會ノ議員ニ於キマシテハ、戰時中デゴザイマシタ爲ニ任期ニ延長ヲ致シテ居リマシテ、府縣會議員ノ如キハ、所ニ依リマシテ既ニ今日デ七箇年モ在任シテ居ルト云フヤウナ變則ナコトガ起ツテ來テ居ルノデアリマス、市町村會議員ニ付キマシテハ、左程ノコトハゴザイマセヌ、府縣會議員ニ付キマシテハ左様ナ次第デアリマス、ソコデ今議會ガ開會セラレマス際ニシマシテハ、ソレニ對應致シマシテ、成ルベク擴張セラレタ選舉權ノ下デ早ク選舉ヲ行ヒタイト云フノデ、選舉人名簿ノ調製ニ付テハ特別ヲ決メル法律案モ此ノ間當委員會ニ御付託ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、アノ特別ヲ設ケマス際ニ於キマシテ、此ノ點ヲ十分考慮致シマシテ、從來ヨリハ調製期間ヲ短縮致シマシテ、尙且不備ヲ生ジナイヤウナ所ヲ十分研究ヲ致シマシテ、アノ特別ヲ提案致シタ次第デアリマス、丁度議會ガ段々延ビマシテ改正案ガ成立スルニ至リマセヌカラ、其ノ議會ガ延長サレマシタ程度ハ延バスコトハ是ハ已ムヲ得ナイノデアリマス、大凡二箇月議會ガ延ビマシタノデ、其ノ名簿ノ確定期モソレニ應ジテ二箇月ハ遅レ

ルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイコト
デアリマス、ソコニ無理ヲ致シマス
御尋ノヤウナ結果ヲ生ジマスカラ、餘
リ無理ハ致サナイト云フコトニ考ヘテ
府ル次第デアリマス、而シテ今回ノ名
簿ノ調整ニ付キマシテハ御話ノ如ク有
權者ガ非常ニ多クナツテ居リマシテ、
從來ノ名簿ト大凡分量ハ二倍ニモナラ
ウカト思ヒマス、併シ地方議會ノ議員ノ
選舉權ハ、最ニ執行セラレマシタ衆議
院議員ノ選舉權ト略々同様デアリマシ
テ、大ナル差ハゴザイマス、サウシ
テ衆議院議員ノ選舉人名簿ガゴザイマ
スノデ、ソレヲ参照シテ十月五日現在
ノ名簿ニ直スト云フコトニ大體ナツテ
居リマス、尙文臨時條例ニ於キマシテ
ハ、特ニ此ノ各人ノ申告制度モ併用シ
得ル途ヲ法律上拓キマシタ、結局ニ於
キマシテハ職權制主義デゴザイマス
ガ、申告主義ヲ加味スルト云フ方法モ
應ジテ居リマスノデ、從來ノ名簿調整
ノ方法ニ對シマシテ相當ノ改善モ加ヘ
テアル譯デアリマス、尙且急イデヤル
ト致シマシテハ事務當局ニ於キマシテ
萬全ノ準備ヲ致シマシテ、手配ニ誤リ
ナキヲ期スルト云フ必要ガゴザイマス
ノデ、最ニ内務部長會議ヲ開キマシテ
段々打合せヲ致シ、尙近ク主務課長會
議モ開催シマシテ今カラ十分ニ研究
モ致シ、豫備の準備モシテ置クト云
フコトニ萬全ヲ期シタイト思ヒマス、
ソレ等ノ次第從來ヨリモ約一箇月モ
名簿調整ノ短期ニヤラウト致シテ居リ
マスガ、其ノヤウニ約メマスコトニ依
ツテ、名簿ガ粗漏ニナルト云フヤウナ
トハ萬アルマイカト存ジマス、又今後
モ此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ意ヲ配
リマシテ、先般ノ選舉ノ際ニ起キマシ
タヤウナ名簿粗漏事件ト云フヤウナコ

トガ粗ラヌヤウニ、十分意ヲ加ヘテ履
タ積リデアリマス
○子爵梅園篤彦君 只今ノ内務大臣ノ
御説明ニ依リマシテ此ノ點ニ付テ御留
意ニシ、御研究ニナリマシテ、ソ
レゾレ御對策ヲ御講ジニナツテ居ルヤ
ウデアリマスルカラ、大イニ安心ヲ致
シマシタガ、何分ニモ御期納の選舉ノ
コトデアリマスガ、一層ノ御留意ト
萬遺漏ナキヲ期シテ戴キタイト存ジマ
ス、尙更ニ一點伺ヒタイト思ヒマス
ハ、婦人ニモ男子同様ノ選舉權ト被選
舉權ガ與ヘラレテ居リマスガ、何分ニモ
今日迄婦人ニ對シマシテハ何等ノ政治
的訓練ヲヤツテ居リマセヌ、而モ一躍
シテ婦選トナツタノデアリマスルカラ、
特ニ此ノ點ニ關シマシテハ當局ノ御留
意ガ必要カト存ジテ居リマス、就キマ
シテハ、一般婦人ニ對シマシテ啓蒙運
動ト申シマスガ、政治的訓練ト申シマ
スカ、選舉迄ニ泥鰯式デアリマス
ガ、豫メ何等カノ對策ヲバ講セラレ
ル必要ガアルカト考ヘルノデアリマス、
此ノ點ニ付キマシテ政府ニ於カレマシ
テハ何カ御考ニナツテ居リマセウカ、
御伺ヒ致シタイト思ヒマス、一時大體
省ニ於キマシテ、貯蓄獎勵ノ爲ニ中央
地方ノ然ルベキ人々ヲ多數囑託顧問ニ
委嘱致シマシテ、相當廣範圍ニ且持續
的ニ講演會等ヲヤツテ或程度ノ成功ヲ
收メテ居リタヤウデアリマス、斯ウ
云ツタコトモ一策デアアルカト思ヒマス
ノデ、有ラユル機關ヲバ動員シテ婦
人ノ政治的訓練ヲヤルト云フコトガ必
要デヤナイカト考ヘルノデアリマス、
此ノ點ニ對スル内務大臣ノ御所見ヲ伺
ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 民主政治ガ
成功シマス爲ニハ、一般國民ガ能ク政
治ニ付テ理解ヲ致シ、又其ノ成果ヲ收
メルヤウニ協力スルト云フコトガ絕對
必要デアアルコトハ申上ゲル迄モナイノ
デアリマスガ、衆議院議員ノ總選舉ガ
今春行ハレマスニ當リマシテハ、去年
ノ秋頃カラ其ノ點ニ付キマシテ、政府
ノ注意ヲ致シマシテ段々政策モ致シタ
ノデアリマス、其ノ行キ方ト致シマシ
テハ、是ハ結局中心トナルハ文部省
ガ學校教育面或ハ社會教育面ニ於テ、
十分手配ヲスルト云フコトガ最も適當
ナルコト云フ見解カラ、文部省ヲ中心
ニ致シマシテ、政治ト申シマスカ選舉
ト申シマスガ、其ノ啓蒙運動、又國民
ニ十分關心ヲ持タセ、又十分成果ヲ收
メルヤウニ熱意ヲ持ツテ事ニ當ルト云
フ點ニ付テ進ンデ參ツタノデアリマス
ス、其ノ文部省ヲ中心ト致シマシテ、
内務省ハ衆議院議員選舉法ノ選舉ガ適
正ニ行ハル、コトニ對シマシテハ、主
管上責任ヲ持ツテ居ル譯デアリマス
シテ、文部省ニ出來ルダケノ協力ヲ致シ
テ進ンダノデアリマス、中央ニ於キマ
シテハ左様デアリマスガ、地方ニ於キマ
シテモ、中央ノ方針ニ基キマシテ府
縣廳ハ教育面ヲ中軸ニ致シマシテ、地
方行政及ビ選舉面ニ付テ協力ヲスルト
云フ態勢ヲ取ツテ進ンダノデアリマス
ス、而シテ中央ニ於キマシテハ御承知
ノヤウニ、各種ノ「パンフレット」ヲ作
リ、或ハ又文部省ハ帝國教育會ノ組織
ヲ活用致シマシテ、ソレニ民間運動ト
シテ協力ヲスルト云フヤウナ配慮ヲ致
シマス同時ニ、地方廳ニ於キマシテ
モ其ノ下働キ十分ニ致シマシテ、尙
又町内會、部落會ト云フヤウナ末端ノ
組織ニ至リマス迄選舉啓蒙運動ニ付キ
マシテハ動員ヲ致シテ、可ナリノ行届
イタ運動ヲ展開致シタノデアリマス

ガ、其ノ結果ハ御承知ノヤウニ大成功
デアツタト云フコトハ申上ゲルコトハ
出來ナイノデアリマスガ、併シ婦人等
ニ於キマシテハ棄權者モ半バヲ超エル
ダラウト云フヤウニ、危懼サレテ居
タノデアリマスガ、案外ニ結果ハ良好
デアツタノデアリマス、是ハ單ニ其ノ
啓蒙運動ガ徹底シタト云フヤウニ考ヘ
ルコトハ早計ダラウト思ヒマス、寧ロ
反對ニ是ハ終戦後ノ事態ト致シマシ
テ、國民ガ衆議院議員ノ選舉ニ付キマ
シテ關心ヲ深メ、又熱意ヲ以テソレニ
參加シタト云フ點ガ大キイト思フノデ
アリマス、是ハ有權者ノ自覺ト云フコ
トガ主デアラウト思ヒマス、又其ノヤ
ウナ自覺ヲ起シニ付キマシテハ、先程
來申上ゲマスヤウナ、政府ガ民間ト相
協力シテ色々手ヲ打チマシタコトモ或
程度ノ力ガアツタモノト考ヘル次第
デアリマス、政府ト致シマシテハ近ク
新憲法ガ成立致ス、又地方制度モ民主
主義化ノ線ニ沿ツテ大改正ヲスル此ノ
機會ニ於キマシテ、國民ガ國政及ビ地
方行政ノ上ニ付キマシテ、十分ノ理解
ト協力ヲスルト云フコトニ進メナケ
レバナラヌト云フ點ニ著目致シマシ
テ、目下内閣及ビ文部省ヲ中心トシ
テ、政治啓蒙ノ一大國民運動ヲ起シ
イト云フ所デ企畫ヲ進メテ居リマス、
又内務省其ノ他ノ各省ニ於キマシテ
モソレニ十分協力シヨウト云フノデ
寄リ、企畫ヲ進メテ居リマスカラ、近
ク何等カノ結果ヲ得マシテ、速カニソ
レニ發足ヲ致シタイ、其ノ行キ方ト政
シマシテモ、是ハ官製啓蒙運動デナ
ク、民主的ナル動キニ致シタイト云フ
所ニ著目致シマシテ、折角企畫中デア
ルノデアリマス、又内務省ト致シマシ
テモ、其ノ企畫ニ際シマシテハ地方選

舉ト云フコトニモ重大關心ヲ拂ツテ、ソ
コニ企畫上遺憾ナキヲ期シテ實ヒタイ
ト云フヤウニ考ヘマシテ、協力ヲ致シ
テ居ル次第デアリマス、マダ豫算的措
置ヲ執ルト云フ所迄企畫ハ進ンデ居
マヒスケレドモ、最近ノ機會ニ其ノヤ
ウナコトガ決定サレマシテ、「スタート」
ヲ切リヤウニ相成ルト考ヘテ居リマス
○子爵梅園篤彦君 只今大臣ノ御話ニ
依リマスル、此ノ婦人ノ啓蒙運動ヲ
文部省ト協力シ、又民間ニモ呼ビ掛ケ
テ大イニヤラレルコトヲ伺ヒマシテ非
常ニ結構ダト思ヒマス、殊ニ内閣、内
務省デ政治啓蒙運動ヲ始メルト云フコ
トデアリ、且官製ノ啓蒙運動デナクテ
民主的啓蒙運動ノ方針ヲ採ツテヤツテ
行クト云フコトヲ伺ヒマシテ大イニ安
心ヲ致シマシタ、非常ニ結構ダト思
マス、ドウゾ今後トモ殊ニ婦人ノ啓蒙
運動ハ非常ニ大切ダト思ヒマスノデ、
一段ノ努力ヲバ御願ヒ致シタイト思
マス、尙モウ一點伺ヒタイト思ヒマス
ノハ、新憲法實施ト共ニ知事ノ公吏ト
スルト云フヤウニ承知致シテ居リマス
ルガ、百尺竿頭一歩ヲ進メマシテ、新憲
法實施ヲ待タズシテ之ヲ公吏ト致ス方
ガ寧ロ時勢ニ順應シテ居ルモノデハナ
イカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリ
マス、就キマシテハ、新憲法實施迄之
ヲ延期セラレマシタノハ恐ラク是等ノ
官吏ノ公吏ニ切リ換ヘル準備ノ必要ガ
アルカラデモアリマセウガ、何カ之ヲ
延期セラレマシタ理由ト申シマスル
カ、内狀ト申シマスガ、若シ御困リニ
ナルヤウデゴザイマシタラ速記ヲ中止
シテ戴イテ結構デゴザイマスカラ、御
話ヲ伺フコトガ出來マシタナラバ仕合
セト思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 公開申上

ゲチー向差支ナイト思ヒマスカラ御答
ヘ敷シマス、御承知ノヤウニ新憲法案
案ニ於キマシテハ知事ヲ直接公選ニス
ルト云フ原則ガ被ツテ居ルノデアリマ
ス、此ノ原則ヲ政府ハ立案シマス際ニ
於キマシテハ、當時ノ内閣ニ於キマシ
テ各方面カラ検討ヲサレテ、知事公選
ハ日本ノ民主化ノ上ニ於キマシテ絶對
必要ナリトシテモ、直接公選ハ時期尙
早デハナイカト云フヤウナ論議モ隨
分交ハサレタヤウデアリマスガ、結局
各方面カラ之ヲ検討サレマシテ、直接
公選ノ原則ニ著キマシテ、ソレガ
法文ニ盛ラレタヤウニ承知致シテ居
ルノデアリマス、サウナリマス知事
ハ直接公選ニ依ルト云フ精神カラ申シ
マスルナラバ、只今御尋ノヤウニ府縣
知事ハ選舉民ニ對シテノ責任ヲ負フ
テ行ク、官吏ト云フヤウナ身分ヲ與ヘ
マシテ、一面ニ於テハ直接選舉ニ基イ
テ出タ者デアリマスカラ、選舉民ニ對
シテ責任ヲ負フト同時ニ、他面ニ於テ
マシテハ國家ノ官吏トシテ、國家ト申
シマスカ内閣ト申シマスカ、ト云フモ
ノカラ強ク制肘ヲ受ケルト云フヤウナ
二重性格ハ決シテ新憲法ノ精神デハナ
カラウト云フヤウニ考ヘラレルノデア
リマシテ、我々ト致シマシテモ其ノ點
ニ付キマシテノ根本論ト致シマシテ
ハ、只今申上ゲマスヤウニ二重性格的
デナイ、選舉民ニ對シテノ責任ヲ負
フモノニ致スベキデアアルガ、恐ラクハ
今ノ公務員ノ觀念カラ申シマス、知
事ハ官吏デナク公吏ニスベキダト云フ
コトニ相成ルト思フノデアリマス、併
シ今同提議致シテ居リマス所ノ地方自
治制度ノ改正ハ、現在ノ地方自治制度
ニ付ツテ居リマスル限度ニ於ケル民主
化デアリマシテ、現ニ府縣廳ヲ取扱フ

テ居リマスル事務ノ内容ヲ檢討シテ見
マス、現行ノ地方制度ヲ運用サレテ
居ル府縣廳行政ト云フモノハ非常ニ分
ガ少イノデアリマス、他ノ言ヲ以テ言
ヒマスレバ、今日ノ府縣廳ノ仕事ハ中
央政府ノ出先機關ト致シマシテ、國政
事務ヲ非常ニ分置多ク扱フテ居ルノデ
アリマス、地方自治事務ノ分置ト國政
事務ノ分置ト比較致シマス、國政
事務ノ方ニ非常ニ「ウエイ」ガ掛ツテ
居リマシテ、自治事務ノ方ハ「ウエイ
ト」ガ輕イノデアリマス、然ルニ今日
提案シテ居リマスモノハ地方自治事務
ニ關スル方ノ民主化デアリマシテ、府
縣廳ガ扱フテ居リマス國政行政ノ事務
ノ扱ヒ方ニ付キマシテハ、ソレ等關係
諸法令、諸制度ノ民主化ノ手ガ加ハシ
テ居リマセス、公選知事ヲシテ府縣
ヤツテ居リマスル地方自治事務ノ方ヲ
公吏トシテ扱ハセルト云フコトニ付テ
ハ何等障礙ナイノデアリマスガ、國政
事務ノ面ニ於キマシテハ之ヲ公吏ニ扱
ハセルト云フコトニ付キマシテハ、ソ
レニ相應スルダケノ改正ヲ致サナケレ
バナラヌノデアリマス、然ルニ其ノ改
正ヲ致スト致シマス、是ハ單ニ内務
省ダケノ手デハ解決ガ出來ナイノデア
リマス、而シテ國政ノ民主化ニ相伴ヒ
マシテ、地方行政ノ民主主義化ヲ致ス
コトハ、現下ノマア情勢カラ致シマシ
テ、必然ノ情勢デアルト云フヤウニ私
共ハ考ヘマシテ、不可能デゴザイマス
ガ、吉田内閣成立直後ニ於キマシテ、
府縣廳ノ受持ツテ居リマス部分ニ付テ
地方自治制度ノ面及ビ府縣廳ガヤツテ
居リマス所ノ官行政ノ面ト云フモノ
ノ兩者ノ民主化案ヲ並ヘルト云フコト
ハ、時間的ニ殆ド不可能デゴザイマシ
タノデ、地方自治制度ニ關スルモノデ

テノ民主化ヲ、今期議會ニ於キマシテ
ハ御審議ヲ願ヒ、來ルベキ次ノ議會ニ
於キマシテ、關係各省トモ熟議ヲ遂
ゲ、然ルベキ成案ヲ得マシテ御審議ヲ
仰グ、ソレ等ノ手順ガ進ミマシタ上ニ
於キマシテ、此ノ府縣廳ノ首長デア
ル知事ヲ選舉民ニ對シテノ責任ヲ負
フ立場ニ改メテ外ヤリ様ガナイト云フ結
論ニ達シタモノデゴザイマス、ソコデ
其ノ現實ニ調和ヲ保タセマス上ニ於キ
マシテ、知事ハ直接公選ヲ致シマス
ガ、其ノ身分ハ官吏ト致シマシテ、知事ハ
一面ニ於キマシテハ、地方自治團體ノ
首長トシテ地方自治事務ヲ扱フ責任者
トスル、ソレカラ他面ニ於キマシテ
ハ、其ノ公選知事ガ官吏ノ資格ヲ兼ネ
マシテ、從來ヤツテ來テ居リマス所ノ
國政事務ヲ扱フ、サウシテ現在ノ府縣
廳ニ於キマシテハ、知事以下ニモ官吏
ノ數ガ相當澤山ゴザイマスガ、知事ガ
只今申シマスヤウナ二重性格ヲ持チマ
スコトニ依リマシテ、現在ノ府縣廳ノ
行政事務ヲ處理シテ行ク上ニ於キマシ
テ先ヅ支障ガナカラウト云フヤウニ考
ヘタ次第デアリマス、サウシテ提案當
時ニ於キマシテハ、議會ハ一應會期ノ
五十日ヲ終ルト云フヤウニ、モウ二箇
月位早ク議會ガ終ルト云フコトニ考ヘ
テ居リマシタ、サウナリマス、國政
事務ノ方ノ民主主義化ニ付キマシテ
モ、相當早イ時期ニ立案ガ出來ルノデ
ハナイカ、併シ是ハヤツテ見ナケレバ
分ラヌコトデアリマスガ、或ハ來ルベ
キ秋ノ臨時議會ニ於キマシテ相當ノ立
案ガ出來ルデアラウ、又間ニ合ハナイ
ト致シマシテモ、通常議會ニ於テハ更
ニ豫部ノモノガ御審議ガ願ヘルデハナ
イカ、サウ云フヤウナコトニナリマス
レバ、或ハ明年四月ト云ハズ、府縣知

事ノ公吏案モ成立シ得ルデハナイカト
云フヤウニモ當時考ヘテ居タノデア
リマスルガ、段々ハ憲法ノ審議ニモ
關係シタコトデアリマスガ、地方制度
ノ審議ガ進レマシテ、豫定ヨリ二箇月
位遅レルト云フヤウナコトニ相成リマ
シタ、ソレカラ尙衆議院ニ於キマシテ
ハ、ソレ等ノ事情ヲ詳細ニ研究シ審議
ヲサレテ居ツタノデアリマスガ、其ノ
サレテ居ツタ所カラシテノ見送シデ、
是ハ憲法實施ノ時迄ハソレ等ノ諸般ノ
手續ガ進ムコトハ到底不可能デアルト
云フヤウナ見送シヲ立テラレタモノト
推察致スノデアリマス、併シ知事ノ公
吏案ト云フモノヲソレベンダリト何時
迄モ延バスト云フコトハ、日本ノ地方
行政ノ民主主義化ノ上ニ於テ望マシク
ナイ、是ハ成ルベク早く即行シナケレ
バナラヌ、ソコデ原案ニ於キマシテ
ハ、私事ノ身分ハ當分ノ内官吏トス
ト、暫定官吏ノ精神デアツタノデアリ
マスガ、暫定ト云フノハ期限ガゴザイ
マス、ソコデ憲法實施ノ時ト云フコト
ニ付キマシテ、期限ヲ限ツタ方ガ、限
見解デアノ修正ヲサレタモノト考ヘテ
居リマス、アノヤウニ憲法改正ノ時迄
官吏トスト云フコトニナリマス、憲
法實施ノ時迄官吏トスト致シマス
ト、憲法實施期以前ニ於キマシテ、府
縣知事ヲ公吏ニ切替ヘルコトガ出來ル
ト云フ狀態ニナリマシテモ、ソレヨリ
以前ニソレナコトガ出來ナイト云フ制
約ガアル、此ノ制約ハ私ハ當初ニ於テ
ハ適當デナイト、若シ出來レバ憲法實
施ヲ待タズシテ公吏ニ出來ルナラバ、
公吏ニシテモ宜イデハナイカトマア考
ヘテ居ツタノデアリマス、併シ幾モ進
レマシタノデ、恐ラクハ次ノ通常議會

ヲ待タナケレバ、知事ヲ公吏ニ切替ヘ
ルト云フ諸般ノ準備ハ整ハヌノデハナ
イカト思ハレル事態ニナリマシタノ
デ、實質ニ於テハ差支ハナカラウト云
フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、
併シ一面ニ於キマシテ、憲法實施ノ時
迄官吏トスト云フコトニナリマス、
否デモ應デ憲法實施ノ時迄ニハ知事
ヲ公吏ニ切替ヘルト云フ諸般ノ準備ヲ
完了シナケレバナリマセス、併シ是ハ
政府ト致シマシテモ極力其ノ點ニ付キ
マシテ努力ヲ致サナケレバナリマセ
ス、尙又凡ソ半年ノ間モゴザイマスカ
ラ、ソレモ可能デザラウト思ヒマス、
是ガ暫定ニナリマシテ、憲法實施ノ時
迄ニモ其ノ準備ガ出來マシテ、其ノ後
ダラ／＼ト長ク何時迄モ解決サレナイ
ト云フコトモ、是ハ衆議院ノ御心配
デ、是ハ尤モナト云フヤウニ考ヘマシ
テ、政府ト致シマシテハアノヤウナ修
正ノ出來マシタコトニ付キマシテハ、
之ヲ尊重スル方ガ宜カラウ、尊重スベ
キデハナカラウト云フヤウニ一應考
ヘテ居ル次第デアリマス
○子爵梅園篤彦君 只今内務大臣カラ
續々御應答ナル御説明ヲ戴キマシテ十
分ニ了承致シマシタ、尙モウ一點尙ヒ
タイト思ヒマスガ、運輸、通信機關其
ノ他ノ發達ガ現在ノヤウニ高度ニ發達
シテ參リマシタ結果、距離ガ短縮サレ
タ譯デアリマスガ、昔ト違ツテ、此ノ
ヤウニ距離ガ短縮サレテ居リマスル今
日ニ於キマシテモ、尙依然トシテ現在
ノ府縣單位ニ於テ府縣ノ地方行政ガ行
ハレテ居ルト云フコトハ、チヨット時
代遅レノヤウナ感ガ致スデデアリマス
ルガ、是ハ寧ろ此ノ地方制度改正ノ機
會ニ於キマシテ、所謂府縣ブロッツク
制度ノ道州制、道州廳制ト申シマス

カ、ト云フヤウナモノヲ設置シタ方ガ
宜イト思フノデアリマスガ、之ニ對シ
テサウ云フ御意思ガアリマスカドウ
カ、若シ御意思ガナイト致シマス、
何カ特ニソコニ差障ル理由ガアリニ
ナルヤウデゴザイマシタラ御説明ヒ
タイト思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 只今提案シ
テ居リマスル改正案ニ於キマシテハ、
現在ノ府縣ノ區域ニ依リマシテ、新ラ
シイ行キ方ヲシヨウト云フコトニナ
シ居ルノデアリマス、其ノヤウニ致シ
マシタ理由ト致シマシテハ、其ノ點ヲ
先ヅ一應御説明ヲ申上ゲル必要ガアラ
ウト思ヒマス、御話ノ如ク我が國ノ今
日ノ府縣ノ區域ト云フモノハ、明治ノ
初年ニ決マリマシタモノガ、大體ズツ
ト踏襲サレテ居リマシテ、爾來交通關
係又社會情勢其ノ他非常ナ變遷デアリ
マシテ、明治初年ニ於テ適當ナ區域デ
アリマシタトシテモ、今日ニ於キマシ
テ其ノ地域ハ新ラシイ情勢カラ考ヘ直
サナケレバナラヌト云フコトハ、確カ
ニ理由ノアルコトデアリマス、尙又實
際ノ上ニ於キマシテモ、只今御述ニナ
リマシタヤウナ府縣劃據ト申シマス
カ、府縣「ブロック」ト云フヤウニ鄭モ
現ハレテ來テ居ルノデアリマス、殊ニ
戰時中ニ於キマシテハ、地方行政協
會ト云フヤウナ、極メテ「ルーズ」ナ
モノデアリマシタガ、其ノ弊ヲ矯メル
ト云フ試ミヲサレマシテ、戰局ガ稍烈
ニナリマシタ時期ニナツテ、地方總監
府ト云フヤウナモノニ繼メラレマシ
テ、所謂道州制ト云フヤウナ方向ニ數
歩ヲ進メテ居ッタノデアリマス、其ノ
地方行政協議會ト云ヒ或ハ地方總監府
ト申シマスノハ、何レモ戰時中ノ必要
ニ應ジタ行キ方デアリマシテ、終戰後

ニ於キマシテハ、其ノ改革ヲ元ニ展ス
ト云フ趣旨デ、總監府ハ廢止サレタノ
デアリマス、ソレニ代ハルモノト致シ
マシテ、極メテ小規模ノ組織デゴザイ
マスガ、地方行政事務局ト云フモノヲ
作リマシテ、道州制ノ點カラ見マスル
ト何ガシカノ根ガ殘ツテ居ルト云フノ
ガ、此ノ改正案ヲ立案致シマス當時ノ
狀況デアツタノデアリマス、此ノ改正
案ヲ立案シマス當時ハ、御承知ノヤウ
ニ食糧問題ガ非常ニ逼迫ヲ致シテ居
リマシテ、又食糧問題ノ逼迫ヲ主ナ原因
ト致シテ居リマスガ、ソレバカリデモ
ゴザイマセヌ、日本ノ社會治安ノ維持
ト云フモノニ付キマシテハ、ナカノ
容易ナラヌモノガアツタノデアリマシ
テ、アノヤウナ逼迫シタ事態ニナリマ
シタ時ニ於キマシテ、地方制度ニ手ヲ
著ケルト致シマス、假ニ從來アリマ
スヤウナ意見ニ從ヒマシテ、立派ナ道
州制ヲ打立テ得ルト致シマシテ、其ノ
新制ガ運行サレテ行キマスニ付キマシ
テハ、何ガシカノ時間ヲ掛ケナケレバ
完全ナ效果ヲ收メルト云フコトハ到底
不可能デアリマス、サウシテ從來ノ
府縣ト云フモノニ付キマシテハ多年ノ
沿革ガアリ、又府縣ノ行政ト云フモノ
ニ付キマシテハ多年ノ經驗ニ依リマシ
テ、アスコ迄發展シテ參ツタノデアリ
マシテ、サウシテ日本ノ府縣行政ト云
フモノハ、ソコニ一體性ガ出來テ居リ
マシテ、寧ろ中央政府ニ於キマシテ
諸施策ハ、府縣廳ニ行キマシテ綜合調
整ガ出來テ、是ガ實際ニ行ハレテ居ル
ト云フヤウナコトニ於キマシテ、物ノ
統一ヲ圖リ調和ヲ取ル、是ガ民情ニ適
スルヤウニ各地ノ實情ニ即應シテ居ル
ト云フヤウナ點ニ於キマシテ、非常ナ
大キナ特色ヲ持ツテ居ルノデアリマシ

テ、只今ノヤウナ事態ヲ餘リ根本的ニ
變ヘズニ進ム場合、又道州制ト云フヤ
ウナ非常ニ立派ナ案ニ依リマシテ、現
在ノ府縣ヲ解體致シテ、ソコニ新シイ
行キ方ヲスルト云フコトト、兩者比較
シテ見タ場合ニ於キマシテ、終戰後ノ
事態ト致シマシテハ、道州制ヲ採ルニ
ハ其ノ時期デナイ、ドンナ案ヲ得マ
シテモ、道州制ヲ採ルニハ時期尙早デ
アル、大體現在ノ府縣ノ狀態ヲ存續ス
ルコトガ國家ノ爲ニ必要デアルト云フ
ヤウナ結論ニ達シマシテ、今回ノ地方
制度改正ニ當リマシテハ、道州制ノ如
キ新ナ構想ヲ加ヘナイト云フコトニ
ナリマシテ、只今御審議ヲ願フテ居
リマスヤウナ改正案ヲ得タ次第デアリマ
ス、併シ道州制ノ問題ニ付キマシテ
ハ、考ヘ方ニ於キマシテ、確カニ適切
ナモノガアルノデアリマシテ、道州制
ヲ打立テ、行クト云フコトニ付キマ
シテノ研究乃至立案ハ、今後モ試ミナ
ケレバナラヌ問題ト思ハレルノデア
リマスガ、併シ此ノ問題ハ今直チニ之
ヲ實施スルト云フヤウナ考ヘ方デハ行
キ難ネルト云フヤウナ考ヘ方デハ、尙
道州制ノ中ニ於キマシテモ色々ノ考ガ
アルノデアリマシテ、例ヘバ戰時中ノ
地方總監府ト云フヤウナモノヲ發表サ
セマシテ、全國ニアリマス四十幾ツノ
府縣ノ上ニ官廳制ノ道州制ヲ持ツテ行
ク、サウシテ道州長官ハ中央ノ指令ヲ
受ケマシテ、道府縣知事ヲ官治的ニ監
督ラシテ行クト云フヤウナモノ、今迄
我が國デ論セラレマシタ道州制ノ一ツ
デゴザイマスガ、サウ云フヤウナ行キ
方ヲ致スコトガ宜イカドウカ、是ハ日
本ノ政治ノ民主主義化ノ下ニ於キマシ
テ、府縣ト政府トノ間ニ更ニモウ一ツ
官廳組織ヲ作ル、所謂屋上屋ヲ架スル

ヤウナ行キ方ガ果シテ宜イカドウカト
云フヤウナ點ニ付キマシテハ、民主主
義ノ上カラ申シテ、又行政ノ能率ノ上
ニ於キマシテドシナモノデアアルカ、是
ハ十分研究シナケレバナラヌ問題ト
思ヒマス、尙又サウ云フ行キ方デゴザ
イマセヌデ、現在ノ府縣ハ地方行政ノ
一ツノ單位ト致シマシテハ、大體ニ於
テ小サキニ失シテ居ル故ニ、現在ノ實
情ニ合ヒマスヤウナ道州制カ州トカ云フ
地方自治團體ノ區域ノ廣イモノヲ作ル、
全國ヲ七ツトカ十二分ケル、其ノヤウ
ナ地方自治團體タル道州制ヲ設ケル、
從ツテ其ノ道州制ノ首長ハ、人民ノ公選
ニ依ル公選首長ニナルデアリマセウ、
サウ云フ工合ニヤツテ、モウ少シ廣域
ノ地方團體ガ出來マスナラバ、現在ノ
府縣ハ餘リニ大キイト云フヤウナコト
モ考ヘラレマス、鳥取縣ノ如キハ宜イ
ト致シマシテモ、長野縣ノヤウナ所
ハ、サウ云フヤウニナレバ寧ろ之ヲ二
ツカ三ツカニ分割致シマシテ、下級ノ
地方團體トシテヤツテ行クト云フヤウ
ナ考ヘ方モアルヤウデアリマスルガ、
斯ツ云フコトニナリマス、結局道州
ト云フ地方團體ト府縣ト云フ團體、其
ノ下ニ市町村ガ附クト云フヤウナコト
デ、地方團體ノ階級ガ一ツ殖エルト云
フコトニナルカト思フノデアリマス、
尙其ノ外ニ色々構想サレルト思ヒマ
スルガ、大キク分ケマスルト、其ノ二
種類ガアルト思ヒマス、是等ノコトハ
今後ノ日本ノ經濟社會狀態ガ安定ヲ致
シテ參リ、又治安關係等ニ付キマシテ
モ、一時能率ハ下ツテモ新シイ良イ制
度ニ將來ナリ得ルト云フ見込ガ確實デ
アリマスナラバ、一時ノ能率低下ハ
之ヲ忍ビマシテモ、新シキモノニ「ス
タート」ヲ切ルト云フコトモ、是ハ確

カニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマ
シテ、是ハ道州制ノ内容ニ盛ラレマス
所ノ合理性ト、又其ノ合理的ナ案ヲ實
施スルコトヲ堪ヘル社會狀態デア
ルカ、國家狀態デアアルカト云フヤウナ、
二ツノ點カラ考ヘテ決定セラルベキモ
ノデアラウト云フヤウニ考ヘテ居ル次
第デアリマス
○子爵梅園齋齋君 最後ニモウ一點伺
ヒタイコトハ、是ハ大都市ノ特別市制
ノ實施ハ大體何時頃ニナルノデゴザイ
マセウカ、伺ヒタイノデアリマス、此
ノ秋ノ臨時議會ニハ特別市制法案ノヤ
ウナモノヲ御提出ニ相成ル御意思ハナ
イモノデアリマセウカ、御伺ヒ致シマ
ス、實ハ本問題ハ多年ノ宿題デアリマ
シテ、而モ四圍ノ情勢變遷ハ今ヤ圖ラ
ズモ茲ニ熱シカノヤウニ考ヘラレル
ノデアリマス、折角ノ此ノ地方制度改
正案ニ對シマシテ、靈龍點睛ノ意味ヲ
有シマスル所ノ此ノ特別市制法案ヲ
バ、是非トモ來ル秋ノ臨時議會ニハ御
提出願ヒタイト希望スルノデアリマ
スルガ、果シテ御提出ノ運びトナツテ居
ルノデアリマセウカ、如何ニナツテ居
ルノデアリマセウカ、伺ヒタイト思ヒ
マス
○國務大臣(大村清一君) 先程來申上
ゲマスヤウニ、只今御審議ヲ仰イデ居
リマスル改正案ハ、地方自治制度ノ民
主主義化ニ付テハ大體必要ニ觸レタ
改正ラシテ居ルノデアリマス、然ルニ
地方行政ノ面ニ於キマシテハ、地方自
治行政以外ノ點ニ付キマシテ、相當各
方面ニ互ツテ民主主義化ヲ圖ラナケレ
バナラヌト云フコトニナツテ居リマ
ス、今後地方制度ノ改正ヲ御審議ヲ願
ヒマス點ハ、主トシテ官治行政面ノ點
ニ重點ガ掛ツテ來ルト思フノデアリマ

ス、之ヲ如何ニ改正スルカト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ政府ト致シマシテモ十分慎重ニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、而シテ其ノ行キ方ニ付キマシテモ、民主主義的ナル行キ方ヲ致シテ、政府ガ獨斷的ニ立案スルコト云フコトハ、是ハ避ケテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソコで成ルベク近イ機會ニ於キマシテ、地方制度調査會ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、各方面ヲ御參加ヲ願ヒ、其處デ民主主義的ナル改正ノ御審議ヲ願ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ地方制度審議會ニ於キマシテハ、府縣廳以下ノ地方行政廳ニ於テ拔ツテ居リマス仕事ヲ民主化スルコトニ付テノ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハドウ云フ工合ニナリマスカ、調査會ノ審議ニ依ツテ決セラレコトハ、ハザイマスルガ、併シテ恐ラク是ハ地方分權ノ線ニ沿フテノ改革ガ機セラレト思フノデアリマス、地方分權ヲ致スト致シマスルト、現在國家ガ留保致シテ居リマス所謂國政的ナ行政ハ、出來ルダケ大幅ニ之ヲ地方團體ニ移讓スル、乃至ハ地方團體ノ機關ニ委任スルコト云フヤウナ形ニ相成ツテ行クト思フノデアリマス、其ノヤウナ傾向ヲ是認致シマスルナラバ、御話ノヤウニ、六大都市ノ如キ大都市ヲ一般都市トハ別ニ扱ヒマシテ、大府縣並ニ六大都市ヲ拔ツテ行クト云フコトニナル傾向ダト思フノデアリマス、ソレカラ更ニ從來特別市制ノ上ニ於キマシテ解決ノ困難ナ問題ハ、獨立致シマシテ特別都市ノ財政關係ト、ツレカラ其ノ六大都市ヲ持ツテ居リマシテ府縣ノ財政關係トノ間ニ於キマシテ如何ナル調和ヲスルカト云フ點ニナカ、難點ガアツタノデアリマス、當

時ノ難點ハ、固ヨリ此ノ府縣カラ六大都市ガ特別都市トシテ獨立致シマスルト、其ノ府縣ノ財政ニ非常ナ影響ヲ與ヘル、有力ナル六大都市ニ獨立サレテハ殘ツタ府縣ガ困ルト云フヤウナ事情モアツタノデアリマスガ、戰爭ニ依リマシテ、六大都市ノ財政力ト云フモノニ付キマシテハ非常ナ變化ガ起ツテ來テ居ルコトモアリマスシ、サウ云フヤウナ彼此色々ノ點ヲ考ヘテ行キマスルト、六大都市ニ特別市制ヲ布クト云フヤウナ問題ハ解決シ易クナリツ、アルヤウニ考ヘルノデアリマス、故ニ來ルベキ地方制度調査會ニ於キマシテハ、六大都市ニ對スル特別市制ノ問題モ併セ調査ヲ願ヒマシテ、適正ナル案ヲ得テ、出來マスルナラバ次ノ通常議會ニハ其ノ案ヲ提出スルヤウナ目途ヲ努力ヲ致シテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵梅田實彦君 只今大臣ノ御説明ニ依リマス、此ノ特別市制問題ニ付テハ並々ナラヌ御苦心ノヤウニ伺ヒマス、其ノ調査會ニ於テ研究ヲシ、來ル通常議會ニ於テ提案ノ運びト相成ルヤウニ努力スルコト云フヤウナ御話ヲ伺ヒマシテ誠ニ感謝致シマス、ドウカ出來ルダケ早イ機會ニ於テ實施セラレマスヤウニ御努力ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○河端作兵衛君 今四ノ東京都府制ノ改革ニ付キマシテ御尋シタイノデアリマス、區ニ或程度ノ大幅ノ自治權ヲ與ヘテ行クト云フ、斯ウ云フ風ナ現在ノ趨勢ラシイデスガ、現在ノ區デハ行政區劃ガ甚ダ小サイ、完全ニ帝都ノ復興ヲスルコトニハ大キク四ツ乃至五ツニ分ケテ行クコトガ宜イノデハナイカト思フ、區稅ノ徵收減ハ分擔金ノ賦

課、起債、併セテ財政調整交付ト云フヤウナ制度ニ新タニ區ノ一面ガ加ハリ、一面政府ガ保護スルヤウナコトニモナツテ居リマスガ、現在ノヤウナ荒廢ニ歸シテ居ル帝都ハ、此ノ點ハナカナカウマク行カスト思ヒマス、此ノ區ノ併合ヲ議ルト可ナリ凸凹ノ復興狀況ニナルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、此ノ點ノ御考ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、横ノ連絡ハ、地方ノ縣ノ「プロット」ト漢ヒマシテ東京都ハ區ト區ノ間ガ有ラヌ關係ニ於テ密接ナ關係ガアルト思ヒマス、サウ云フモノガ果シテ横ニヨク連絡ガ取レテ、其ノ間ノ區分ガヨク區トシテ之ヲ期シ得ルカドウカ、斯ウ云フヤウナコトハ極メテ急務ニ屬スルト思フ、其ノ邊ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 東京都ノ區ヲ見テ行キマス場合ニ於キマシテハ、東京都ニ區部ト町村部ガアリマシテ、區部ハ所謂大都市トシテ東京ノ一ツノ總ツタ存在デアリマス、三十五區以外ノ市町村部ニ於キマシテハ、區部トハ大分關係ガ違フト思ヒマス、東京都ノ區部ノ地方行政ノ急ヲ見マス、是ハ其ノ都市トシテノ性格ノ上カラ行キマシテ、都ノ一體性ト云フモノハ常ニ之ヲ重視シテ行カレバナラヌト考ヘテ居リマス、從ツテ今同地方制度ノ改正ニ依リマシテ三十五區ノ自治的權限ヲ相當各方面ニ互リマシテ、改正ヲ致シテ居リマス、是等ハ總テ都ノ一體性ヲ阻害シナイト云フ、ソコニ何等カノ保障ヲ求メマシテ、都ノ一體性ハ之ヲ保持スル方途ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、例ヘバ區ノ獨立シタ課稅權ヲ與ヘルト致シマシテ、是ハ都

會ニ於テ承認シタル區稅ヲ課セルト云フヤウニ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ他ソレ等ノ點ニ付キマシテハ都ノ一體性ヲ保持スル要件ヲ適當ニ考慮シテアル管デザイマス、其ノ見地ハズツト維持シテ行クベキデアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ今度ハ各區ニ付テ見マス、終戰後ノ各區ノ狀態ハ其ノ前ニ較ベマシテ非常ナ激變ヲ來シテ居ルノデアリマシテ、人口ノ分布ノ狀態ヲ見マシテ極メテ少數ノ區民シカ擁シテ居ナイ區ガ段々出來テ居リマス、一面ニ於キマシテハ震災ヲ受ケナカッタヤウナ地方ニ於テハ、非常ナ人口ガ集中シテ參リマシテ、一區ニ於キマシテ三十萬五十萬ト云フヤウナ人口ヲ擁シテ居ルヤウナ所モアルノデアリマシテ、少イモノニナリマス、一區一萬内外位ノ人口シカナイト云フヤウニ、區ノ内容ト云フモノガ非常ニ差異ガアルヤウニナツテ來テ居リマス、是等ガ區政ヲ運用シテ參リマス上ニ於キマシテ、相當ノ補正ヲ要請サレル主ナ理由デアラウト思フ、デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテ、只今區ノ分合ヲ折角研究致シテ居ル次第デザイマス、只今御質問ノ中ニハ、東京都ノ區部ヲ數箇ノ區ニ統合シタラドウカト云フ趣旨ノ御意見ガゴザイマシタガ、マダ只今ノ所ト致シマシテハ、三十五區ヲドノ程度ニ統合スルカト云フ結論迄ハ達シテ居リマセスガ、兎モ角モ現在ノ三十五區ヲ適當ニ統合致シマシテ、都制ノ運用上適當ナモノニ改造致シタイト云フコトデ研究ヲ進メテ居リマス、尙又此ノ研究ニ當リマシテハ民主主義的ナ行キ方ヲ致シマシテ、餘リ官僚獨斷ニナリマセヌヤウニ、其ノ邊ノ所ニハ十分注意ヲ加ヘ

マシテ適當ナ案ヲ得ベク努力中デアリマス

○河端作兵衛君 都長官ノ間接選舉ノ方法ニ依ル御考ハ……

○國務大臣(大村清一君) 都道府縣ノ首長ヲ公選スルコト致シマシテ、之ヲ直接選舉スルカ間接選舉ニスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、具體的ノ立案ニ際シマシテ、當時ノ内閣ニ於テ各方面カラ研究シ、檢討ヲサレタノデアリマスガ、結局公選ニスルコト致シマス、間接選舉ニ依ツテハ安當ナル一ツノ方法ヲ見出スト云フコトガナカ、困難デアリマシテ、結局民主主義ニ徹スルト云フ建前カラ致シマシテ、直接選舉ヨリ名案ガナイト云フ結論ニ達シテ、サウシテアノヤウナ草案ガ決定サレテ、三月下旬ニ公表サレタヤウナ次第デアリマス、現内閣ト致シマシテモ前内閣ノ檢討立案ノ結果ヲ承認致シマシテ、之ニ依ツテ進ムト云フコトニ相成ツタノデアリマス、從ツテ都長官ノ點ニ付キマシテモ、是ハ特ニ抽出シテ研究モ致シタノデアリマスガ、都道府縣均一ニ直接公選ニスルヨリ外ハアルマイト云フヤウニ決シタ次第デアリマス

○山縣康君 御伺ヒ致シマスガ、政府ガ此ノ各案ヲ御檢討ニナリマス、際ニ、改正憲法草案ノ精神ヲ汲ミ、同時ニ他面ニハ現憲法ノ下ニ制約サレマシテ、其ノ間御苦心ノ情ヲ諒察ヲ致シマス、劃期的ノ改正憲法ガ制定サレタル後ニ此ノ種ノ法案ヲ御提出ニナルノガ當然ダト云フ理論モアリマスルケレドモ、是亦且下ノ情勢ガ民主政體ヲ一日モ早タ確立セネバナラヌ、斯ウ云フ見地カラ、改正憲法ノ效力ノ發生スルヲ待タズシテ御提案ニナツタモノト存ジマシテ、サウ云フ了解ノ下ニ一ツ御尋

ヲ致シタイ、此ノ衆議院ノ各種ノ修正ニ對シテハ政府ハ大體ニ御同意ニナツテ居ルモノト存ジマスルガ、併シ貴族院ト致シテハ獨自ノ見解ニ立ツテ此ノ案ノ檢對ヲシテ見タイと思フノデアリマス、ソコ第一ニ御伺ヒシタイと思フハ、都道府縣知事ノ官吏ニスル、是ハ御説明ニ依ツテ相當根據ノアルコトト存スルノデアリマスガ、私ノ疑ハ抱クハ、道府縣知事ノ選出ハ一般投票ニ依ル、サウシテ官吏トスル、官吏ニ付テハ衆議院ノ岡田委員ノ質問ニ對シテ、大臣ハ、官吏ノ任免關涉ハ天皇ノ大權ニ屬スル、斯ウ御答辭ニナツテ居ルノデス、サウ云フコトニナリマスルト、國民投票ニ依ツテ選出セラレタル道府縣知事ガ官吏トナル、而シテソレガ若シ服務紀律等ニ背反シタ場合ニ於テハ、政府ハ之ヲ罷免スルコトガ出來ル、官吏デアル以上ハ罷免ヲスルコトガ出來ル、サウスルト直接選舉ト云フコトノ精神ニ矛盾ナスルコトニナルノデヤナイカト云フヤウナ疑ハ起ス、第二ノ疑ハ、地方議會ガ不信任ノ決議ヲナシテ直チニ之ヲ解散スル、解散後更ニ不信任案ガ決定致シマシタル場合ニ於テハ、知事ハ直チニ辭職セネバナラヌ、假ニモ天皇ノ大權ニ屬スル以上ハ、議會ニ依ツテ解任セシムルト云フコトハ大權干犯ノ虞ハナイカト云フ疑ハアル、先ツ此ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(大村清一君) 御質問ノ中ニハ入ツテ居ナカッタヤウデアリマスガ、チヨット此ノ際申上ゲテ置キタイと思ヒマス、衆議院ニ於キマシテ相當各方面ニ互ツテ修正ヲサレテ居ルノデアリマスルガ、此ノ案ニ付キマシテハ固ヨリ貴族院ニ於キマシテモ十分ニ御審議

ニ相成ルコトト思ヒマス、故ニ政府ト致シマシテハ衆議院ノ修正ニ積極的ニ同意スルト云フヤウナ態度ヲ取リマスコトハ、少シ行キ過ギタと思フノデアリマス、故ニ私ハ衆議院ノ修正ニ付キマシテハ、之ヲ尊重スルト云フ程度ヲ進ミマシテ、一方ニ同意シテ、又修正ガアレバ二回同意スルト云フヤウナコトハナカ／＼困難ナコトデアリマス、衆議院ノ修正ハ差當リ尊重シテ進ンデ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、此ノ點トウゾ御了承置キテ願ヒタイと思ヒマス、次ニ公選知事ノ官吏ニ致シマス、任命大權トノ關係ガ問題ニナツテ來ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ段々研究ヲ進メタノデアリマスルガ、現行憲法ノ十條ノ但書ニ依リマシテ、法律ヲ以テ知事ノ任命スル場合ノ規定ヲ設ケ得ルコトニ相成ツテ居リマス、ソレニ依リマシテ公選知事ノ官吏ト致シマスルコトハ矛盾ナク運営ガ出來ルト云フ見解デアリマス、法律ニ依ツテ知事ノ公選セラレ、サウシテ其ノ任期ハ四年デアルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ法律ノ規定ガ憲法十條ノ但書ノ適用ニ依ツテ公選セラレタモノヲ知事トスル、又其ノ知事ト云フ官吏ニ任命スル、サウシテ其ノ官吏ハ四年ノ任期デアルト云フコトニ相成ツテ居リマス、マア服務紀律違反ガアリマシタヤウナ場合ニ於キマシテ、服務紀律違反ガ悉ク免官ヲスルト云フコトニハナリマセヌ、重大ナ服務紀律違反ノ場合ニ於キマシテ、官吏制度ノ上ニ於テハ固ヨリ免官ノ措置ハ執レル譯デアリマス、併シ公選知事ノ地位ニ鑑ミマシテ、又任期ガ四年ト云フヤウナ地方制度ノ法律ノ精神ト相混ミ合セマシテ其處ニ圓滿

ナル運用ガ出來ルト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ不信任ノ決議ノアリマシタ場合、議會ヲ解散致シマシテ、再び不信任決議ヲ受ケタト云フ場合ニ於キマシテ當然選官ヲスルト云フツテ矛盾ナク進メルコトガ出來ルト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山陽康君 チヨット憲法ノ十條ノ御讀ミ聽カセ願ヒタイ、官吏ノ所選憲法ノ十條ニ依ツテ解釋スルコトガ出來ルコトハ私ハ頗ル疑問ダと思フ

○國務大臣(大村清一君) 憲法第十條ハ「天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定メ及文武官ノ任免ス」是ガ本文デアリマス、但シ此ノ憲法又ハ他ノ法律ニ特例ヲ掲ケタルモノハ各々其ノ條項ニ依ル」ト云フコトニナツテ居リマス

○山陽康君 只今ノ御答辭ヲ了解致シマシタ、先刻大臣ノ御答辭ニ依リマスルト、其處ニ非常ニ私ハ疑ハアルノデアリマスガ、衆議院ノ府縣知事ノ公選トスル、ソレガ無期限デアリカヌガラ憲法ノ效力ヲ生ズル迄デアルト、斯ウ云フ衆議院ノ氣持デアツタヤウデアラ、又手續等モナカ／＼煩雜デアラカラ、大體サウ云フ時期迄ハ知事ノ公選モ困難デアリカト云フヤウナ意味ノ御答辭ガアリマシタ、ドウモ世間デハソレニ對シテ政府ト議會トノ互ニ面目ヲ重ズル爲ニ妥協デアリカト云フ疑ガ相當ニアル譯デアリマス、ソレデ衆議院デ既ニ修正ヲサレ、政府モ其ノ修正ヲ尊重サレテ貴族院デ之ヲ認メルト云フコトニナリマスレバ、私ハ道府縣知事ガ何時選舉サレテモ、直チニ公選ノ資格ヲ得ル、サウシテ此ノ改正案ヲ改正憲法ノ趣旨ニ基調ヲ置キナガラ、其ノ實施ヲ俟タズシテヤウタノハ

時局ガ急遽ヲ要スル、斯ウ云フ見地カラ致シマシテ、道府縣知事ガ公選トシテ職務ヲ執ルノニ足ルベキ手續ト云フモノハ、急遽ニ政府ハ爲スベキ責任ガアルト思フノデアリマス、何ダカ御答辭ニ依リマス、私共ノ疑ハ、成ルベクハサウ云フ風ニシテ愚圖々々ヤツテ、手續ヲ廻ラカシテ、憲法實施迄ニ漸クナ風ニシテ見タイト云フヤウナ疑ガ起ル、此ノ點ヲ私ハ明白ニシテ戴キタイと思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 其ノ點ハ或ハ申上ヤウガ十分デナカッタカト存ジマスガ、決シテ新憲法實施ノ時迄知事ノ公選ヲ延バスト云フ趣旨ハ毛頭ナイノデアリマス、選舉人名簿ガ出來マスレバ、情勢ニ依ツテハ直チニ知事ノ公選致シマシテ、其ノ公選サレマシタ知事ハ官吏ニ任命シテ行ク、サウナリマス、衆議院ノ改正法ニ依リマス、憲法實施ノ時迄官吏ノ身分ヲ持ツテ居ルモノト心得マス、憲法實施ノ時カラ官吏ノ身分ヲ持ツテセナクテ、公選デナケレバナラス、公選デ運用シ得ル諸制度ヲ憲法實施ノ時迄ニ確定シナケレバナラヌト云フ制約ガ生ジテ來テ居ル譯デアリマシテ、公選サレマシタ知事ハ、憲法施行ノ日迄官吏デ宜シイト云フコトニナツテ居リマスカラ……

○山陽康君 ソレハ此ノ條文ダケノ解釋ニ依リマス、當選サレバ直チニ公選ト解釋セネバナラス、憲法ノ效力ガ發生スル迄ハ官吏デアルト云フコトハ、此ノ修正ノ法文自體デハサウ解釋ハ出來ルノデスガ……

○國務大臣(大村清一君) ソレハ改正案附則ヲ御覽下サイマス、憲法實施ノ時迄ハ官吏トスルト云フコトニナツ

テ居リマスカラ、公選サレマシタ知事ハ、憲法實施迄ハ官吏トシテヤツテ行クノデアリマス

○山陽康君 道府縣ノ自治權ノ擴充大化、是ガ主タル改正ノ目的デアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シマシテ道府縣知事ノ公選、更ニ監査委員ノ選舉、斯ウ云フコトニ依ツテ道府縣ノ自治ガ相當強クナルコトハ疑ガナイノデアリマスルガ、其ノ外ニ此ノ法律ノ施行ニ依リマシテ、從來ニ與ヘラレタル道府縣……道ノ別問題デアリマスルガ、府縣ノ自治ノ上ニドウ云フ範圍ニ自治權ガ強大ニナツタカ、擴大シタカト云フ點ヲ一ツ此ノ案ヲ審議スル上ニ於テ承認スレバ非常ニ便利ダと思ヒマスガ、此ノ法律ノ下ニ於テ如何ナル道ニ、今ノ縣知事若シハ監査委員ノ選舉等ヲ除キタ外ニ、自治權ノ實際ニ於ケル擴大セラレタル全貌ヲ簡單ニ御知ラセ願ヒタイと思ヒマス、

○國務大臣(大村清一君) 只今提案致シ居リマスル地方自治制度ノ改正案其ノモノノ中ニ於キマシテハ、地方自治權ノ擴張サレタト云フ點ハ、是ハ固ヨリ指摘シ得レバ何デモゴザイマセヌ、例ヘバ各種ノ點ニアルノデアリマスガ、自治體ノ首長ノ地位ノ民意ニ基イテ確保スル觀念、監督官廳ニ依ツテ地位ガ動カサレルト云フヤウナ色彩ヲ拂拭シタト云フヤウナ點モゴザイマス、又地方議會ノ權限ヲ擴充シ、又其ノ地位ヲ確保シタト云フヤウナコト、又監督官廳ニ依リマシテノ認可、許可ノ上デモ大幅ニ整理致スト云フヤウナ、サウ云フヤウナ點ヲ段々指摘サレ得ルノデアリマスガ、併シ是等ハ現在府縣ナリ市町村ト云フ地方自治團體ノ權限ニナツテ居ルコトニ限フレテ居

ルコトデアリマシテ、今日地方行政ガ
源シテ行キマス場合ニ於キマシテ、
地方自治團體ノ權限外ノモノデヤツテ
居ル點ガ非常ニ多イノデアリマス、例
ハ警察權ノ内容ニナツテ居ルヤウナ
モノモ改メマシテ、ハ地方自治團體
ノ權限ニ委譲シタラ宜シト云フモノ
ガ多分ニアリノデアリマス、尙教育ノ
上、産業ノ上、土木ノ上、或ハ又經濟
ノ上、色々サウ云フ點ガアルト思ヒマ
ス、併シ是等ハ總テ地方制度ノ條文ノ
上デハ決メラレテ居ル問題デアリマ
ス、他ノ法令デ決ツテ居ルノデアリ
マス、此ノ他ノ法令ノ改正ニ依リマシ
テ、今後大府縣ナリ市町村ニ事務
ヲ委譲シテ權限ヲ擴張スルコト云フコ
トガ出來マセト、地方制度ノ改正ダケ
デハ極メテ不十分ナ點ガアルノデアリ
マス、ソコデハ各省ニ關係ノコトデ
ゴザイマスガ、内務省ト致シマシテ
ハ、例ヘバ警察制度ニ付キマシテ、大
幅ノ改正ヲ致シタイ、サウシテ改正ヲ
致シマス方向ト致シマシテハ、現在ノ
警察ノ仕事ト云フコトニナツテ居リマ
スモノニ於キマシテモ、是ハ必ズシモ
警察ト考ヘメデモ宜シイ、警察以外ノ
事務ト觀念致シマシテ、之ヲ地方自治
團體ニ委譲シテ宜シイモノガ可ナリ澤
山アルノデアリマス、ソレハ是非ヤリ
タイ、ソレカラ更ニ性質ハ警察デゴザ
イマシテ、是ハ國家ノ治安ヲ維持ス
ル、或ハ國民ノ生命財產ヲ保護スル
云フヤウナ、警察ノ本當ノ固有ノ目的
ト雖ノ遠イト云フヤウナモノ、或ハ乃
至ハソレニ關係ガアリマシテモ、之ヲ
地方自治團體ノ方ニ委付シタ方ガ寧ロ
能クヤツテ行ケルト云フヤウナ、寧ロ
サウ云フモノハ警察事項ト雖モ地方自
治團體ニ委譲シタラドウカ、其ノ地方

自治團體ハ固ヨリ府縣市町村ヲ含ミマ
ス、ソコデ其ノ委譲シマス場合ニ於キ
マシテ、市ノ如キニ於キマシテハ、是
ハ餘リ小サイ市道之ヲ引受ケルコトガ
出來ルカドウカハ研究ヲ要シマス、ル
ガ、相當ノ力ヲ持ツテ居リマス市ニ對
シマシテハ、市長ノ下ニ市ノ警察署ヲ
作ツタラ宜イノデヤナイカ、市長管理
ノ警察署ヲ作ツタラ宜イノデヤナイ
カ、其ノ中ニハ、最も分リ易イモノ
ハ、消防ノ如キハ、是ハ何モ國家ノ權
能トシテ持ツ必要ハゴザイマセヌ、サ
ウ云フヤウナ點ガ現在内務省ノ所管致
シテ居リマス、國ノ行政トシテヤツテ居
リマス警察行政ノ中ヲ之ヲホダシマシ
テ、警察ト觀念セヌデモ宜イモノモア
リマス、又性質ガ警察デアリマシテ
モ公共團體ニ委譲シタ方ガ宜シイモノ
ハ大幅ニ委譲スルコト云フコトヲヤリ
タイト思ヒマス、其ノ他土木ノ點ニ付キ
マシテモ、或ハ地方行政ノ點ニ付キマ
シテモ、只今ハ内務省ハ他省ニ率先
シテ地方分權ヲ進メニ副ツタコトヲヤ
リタイ、其ノ改正諸案ハ直チニ研究ニ
著手致シマシテ、遅クモ次ノ通議會議
迄ニハ整ヘテ御審議ヲ仰ギタイト云フ
ヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山陽廣君 地方自治權ノ擴充ニ對ス
ル御構想ハ大變結構ダト思ヒマス、教
育ト地方自治團體、即チ市町村トノ關
係ニ於テハ、相當從來論議モサレテ關
心ヲ持ツテ居リタラデアルマス、ルガ、
之ニ對スル大體ノ、確定デナクテモ御
構想デケテ承レバ結構ダト思ヒマス
○國務大臣(大村清一君) 此ノ教育ニ
關スル行政權或ハ國家ガ留保スル乃
至ハドノ程度ニ地方自治體ニ之ヲ委付
スルカト云フヤウナ問題ニ付キマシテ
ハ、是ハ地方行政ノ面カラ見マシテ、
非常ニ重要ナコトハ思フノデアリマ
スガ、御承知ノ如ク、是ハ文部省ガ所
管ヲ致シテ居リマス、サウシテ文部省
ハ教育行政ノ一大刷新ヲ策シマシテ、
最近教育制度刷新委員會ヲ組織シ、ソ
コノ審議ニ依リマシテ適當ナ案ヲ得
テ云フノデ、其ノ審議會ハ内閣ニ於
テ内閣管理ノ下ニ設置サレタノデアリ
マス、其ノ方デ進シテ居リマス、ノデ、
内務大臣ト致シマシテ今此處ニ其ノ見
解ヲ申述ベル時期ニ達シテ居ラスト云
フ點ヲ御了承願ヒタイト思ヒマス

○山陽廣君 從來ノ町内會、部落會、隣
保組ト云ツタヤウナモノハ、是ハ自治
制度ノ相互扶助ノ上カラ致シマシテモ非
常ニ良イ制度デアリマス、是ガ完全ニ運
營ガ出來ルコトニナリマス、自治
ノ基礎ハ非常ニ堅固ニナツテ來ルト思
フノデアリマス、之ヲ必ズシモ法制化
シテ小面制ナ中ニ入レルト云フコ
トハ、是ハ無論避ケネバナラヌコトデ
アリマス、ルガ、ドウモ實際町内會若シ
タハ隣保組、部落會等ニ於キマシテ、
必ズシモ理想通り行カナイモノガ相當
アルハデアリマス、之ヲ内務省トシテ
御指導ニナツテ、完全ナル町内會、
隣保組若シタハ隣組ガ出來上リマスレ
バ大變結構ダト思ヒマス、何カソレニ
對シテ政府ノ方デハ法律外ニ、法律ニ
規定セヌデモ其ノ外ニドウ云フ面ニ向
ツテ御指導ニナルト云フ大體ノ御方針
ガアレバ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 町内會、部
落會ハ戰時中全國ノ大分普及致シマ
シテ、地方行政ノ最下部ノ機構ト致シ
マシテ相當ノ效果ヲ收メテ居ルト思ヒ
マスガ、元々此ノ部落會、町内會ハ自
然發生ノ二段ハ發達シテ參リマシタ
モノ、戰爭中ニ其ノ良イ所ヲ採ツテ全
國ノ普及ヲ策シタノデアリマス、
サウシテ其ノ良イ面ヲ強調サレル人々
ハ、モウ少シ之ヲ地方制度ノ上ニ採入
レテ、法律上規定ヲシタラドウカト云
フ意見モ強クアルノデアリマス、ルガ、
内務當局ノ見解ト致シマシテハ、部落
會、町内會ハ法三章ノ三行ツテ居ル所
ニ味アルノデアリマシテ、之ヲ餘リ
ニ法律デ以テ縛ルト云フヤウナコトハ
却テ其ノ發達ノ上ニ宜クナイデアラ
ウ、故ニ今同ノ地方制度改正ニ際シマ
シテモ、大體餘リ法律ノニムツカシ
コトヲ書カヌ方ガ宜イト云フノデ手ヲ
著ケテ居ナイノデアリマス、唯今度手
ヲ著ケマシタノハ、部落會、町内會長
ニ對シテ市町村ガ報酬ヲ出セルト云フ
コトダケ確カ加ハツタダケデアリマシ
テ、何モ手ヲ加ヘテ居リマセヌ、ソレ
カラ尙ハ部落會、町内會ノ良イ面デ
ゴザイマス、ルガ、併シ多數アル部落
會、町内會ニ於キマシテハ、ドウモ好
マシクナイ、又十分活動シテ居ナイ、
又全體ノ利益ヨリモ一部ニ偏シマシテ
苦情ガアルト云フヤウナモノモ幾ダ
アルノデアリマス、殊ニ又、戰時中ノヤ
リ方ニ付キマシテハ、一般ノ行キ方ト
同様に少シ官僚制ニ偏シテ居ル、ト
云フヤウナ嫌ヒモゴザイマス、併シ部
落會、町内會ト云フヤウナモノハ、是
ハ本質的ニ最も民主主義的ニ、自治的
ニ行カケレバナラヌモノトモ思ヒマ
ス、從來ノ運営ノ行キ方ニ付キマシテ
モ、民主主義的ニ自治的ニ徹スルヤウ
ニ一ツ指導ヲ致シタイ、之ニ付キマシ
テハ、各種ノモノガゴザイマシタノ
デ、其ノ事例ニ依リマシテ、良イモノ
ニ付キマシテノ内容ヲ成ルベク廣ク町
内會、部落會ノ方ニ普及宣傳了解ヲサ
セマシテ、良イ方ニ習フト云フヤウナ

行キ方ニ指導シテ行キタイト云フヤウ
ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、尙内
務省及ビ各地方廳ニ於キマシテモ、部
落會、町内會ノ健全な發達ニ付キマシ
テハ多大ノ關心ヲ持ツマシテ、出來ル
ダケノコトハ致シテ居リマス、ルガ、御
話ノ如ク是ハ地方自治ノ根本ヲ培フモ
ノト思ヒマス、ノデ、地方制度調査會ガ
出來マシタナラバ、ソレ等ノ點ニ付キ
マシテモ一ツ御審議ヲ願フ、御相談モ
致シタイ、サウシテ是ハ審議會ノ意見
トシテ、其ノ線ニ沿フテ一ツ民主的ニ
部落會、町内會ノ健全ナル發達ニ努力
ヲシタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第
デアリマス

○山陽廣君 教育ト自治權トノ連絡ニ
付キマシテハ、文部省ノ關係デアルカ
ラ自分トシテハ茲ニ言明スルアレデナ
イ、一應御尤モデアリマス、ケレドモ、
是ハ地方自治ノ發達ノ上ニ又色々ノ關
係ガアリマス、ル以上、内務省トシテ一
定ノ御構想ヲ抱カレマシテ、之ヲ文部
省ト御協議ニ相成ツテ其ノ實現ヲ期ス
ルト云フコトガ内務省トシテ御責任デ
ヤナイカト思フノデアリマス、文部省
ノ仕事ダカラ我々ハ知ラヌト云フヤウ
ナ御態度デハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマ
ス、是ハ從來全國市會會議等ニ於テモ屢
屢強調サレマシテ、例ヘバ給料ノヤウ
ナモノヲ一應市ノ豫算ニ繰入レテ、サ
ウシテ市ガ教員ニ之ヲ供給スル、ドウ
モ各市ニ於ケル公民教育トノ間ニ成ル
ベク何等カノ連鎖ガアツテソレニ親シ
ミ、自分ノ市ノ學校ナリト云フ觀念デ
其ノ教育ノ完備ヲ期スルト云フコトヲ
シタイノガ多年ノ希望デアリマス、ル
ガ、今直チニ御構想ヲ承ラウトハ思ヒ
マセヌガ、能ク御検討願ヒマシテ、文
部省トノ御交渉ノ上ニ、教育ト自治ト

ノ關係ニ付テ審處セラレムコトヲ切ニ希望致シマス

○國務大臣(大村清一君) 私ノ申上ゲヤウガ十分デナカッタカト思ヒマスガ、地方行政ノ上ニ於キヤシテ、教育ハ誠ニ重要ナ一ツノ事項デアリマス、殊ニ教育ハ自治行政ノ對象ト致シマス

テ最モ私ハ適當ナモノノ一ツダト思フノデアリマス、自分ノ子弟ヲ如何ニ教育シテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、自治體ノ住民ハ最も關心ヲ持チ、最モ熱意ヲ持ツテ居ルコトデアリマシテ、是等ヲ地方自治ノ内容ニ採入レルコトガ、即チ自治政治ノ健全ナル發達ヲ爲ス基礎デモアリ、又自治政治ノ内容トシテ最モ適當ナモノト私ハ確信致シテ居ルノデアリマス、尙又先般此ノ教育觀察團ガ「アメリカ」カラ來マシテ、其ノ觀察結果ノ報告ト致シマスモ、日本ノ教育行政ハ地方分權化スベキモノデアルト云フヤウナ報告モ出テ居リマシテ、是ハ私ハ誠ニ我が意ヲ得タ報告デアルト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ政府ト致シマシテ教育行政ヲドウスルカト云フコトヲ私カラ申上ゲル時期デゴザイマセヌガ、此ノ教育ノ問題ニ付キマシテハ、地方行政面カラ多ク關心ヲ持ツテ居リマス、從ツテ政府ニ於キマシテ立案ヲサレルニ付キマシテハ、我々モ及バズナガラ十分發言モ致シ、サウシテ地方行政ノ上ニ持ツテ居リマス教育ノ重要性ヲ十分伸バスト云フコトニ於テ努メテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山縣廣君 後デ御尋テスルカモ知レマセヌガ、一應此ノ程度デ打切ツテ置キマス

○松尾國松君 委員長質問シテ宜シウ

ゴザイマスカ、如何デスカ

○委員長(白根竹介君) モウ十二時ニナリマスカラ簡單ナ質問ナラ何デスケレドモ、午後時間ガゴザイマスカラ、午後ニ御願ヒ致シタイと思ヒマス

○松尾國松君 午後デ結構デス

○男爵多田龍三郎君 只今教育ニ關シタ色々御意思モ出マシタシ、私モ非常ニ關心ヲ持ツテ居リマスノデ、適當ナ機會ニ文部大臣ノ御臨席ヲ御願ヒ致シタイと思ヒマス

○委員長(白根竹介君) 午前中ハ此ノ程度デ休憩致シマシテ、午後ハ一時カラ開會致シマス

午後一時五十三分休憩

○委員長(白根竹介君) 是ヨリ午前ニ引繼ギ會議ヲ致シマス、松尾委員

○松尾國松君 私ハ二、三伺ヒタイノデスガ、第一トシマシテ、今度ノ地方制度改正ニ依ツテ知事ノ官吏トスルト云フコトハ、現行憲法ノ第十條ノ但書ニ依ル特例デセラル、斯ウ云フコトデアリマスガ、其ノ特例ニ依ルト云フコトハ、任命ノ官吏デナクテ法定ニ定メラレタル官吏トセラル、ノカドウカ、サウ云フ意味ニ考ヘルベキモノカドウカ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレハドウ云フ理由デアルカト云フト、任命ノ官吏ト、斯ウ云フナラバ普通ノ所謂官吏デアル、處ガ特例ニ依ル官吏ハ任命ノ大權ニ屬セザルモノデアル、同時ニ官制ヲ定ムル大權ニモ屬セザルモノデアル、ソレハ其ノ府縣ノ住民ニ依ツテ選舉セラレタルモノハ官制ノ大範圍外デアルト云フコトハ、私ガ申ス迄モナイ所デアリマス、ソレデアリマスカラ、其ノ官吏ハ法律上ノ官吏デアッ

テ、任命ニ屬スル官吏デアルヤ否ヤ、斯ウ云フコトガ第一點デアリマス、ソレカラ第二點トシテ衆議院デノ答辯ニ、公吏ト云フコトニスル場合ニ於テ、官吏服務紀律ノ第一條ニ抵觸シナイカ、モツトキキリシタ申シ方ヲスルト、官吏服務紀律ノ第一條ノ、官吏ハ天皇及ビ其ノ政府ニ忠誠ヲ盡スト云フ意味ト、憲法改正案ノ第十四條ノ第二項ニ、公務員ハ總テニ奉仕スルノデアツテ、一部分ニ奉仕スルモノデナイ、斯ウ云フ關係ニ矛盾ナキヤ否ヤト云フ質問ニ對シテ、政府ハ改正憲法第十四條ノ第二項ノ、總テニ奉仕スルト云フ意味ニ含マレテ居ルカラ矛盾ハナイ、斯ウ云フ答辯ノ如クニ私ハ考ヘテ、讀メノデアリマスガ、サウスルトサウ云フ風ニ考ヘルト、矢張り知事ト云フモノハ官吏トシテモ公務員トシテモ考フツベキモノカ、若シ公務員ノ中ニ官吏ト云フモノト公務員ト云フモノガアル、斯ウ云フ風ニ別ニアリトスレバ、其ノ官吏ト云フ考ヘ方ハ天皇及ビ其ノ政府ニ忠誠ヲ盡スト云フコトデ範圍ガ狭クナリマスノデアリマス、サウスルト、公務員ト一致ノ如ク、一致デナイ如クニアル、斯ウ云フコトデソコニ矛盾ガアル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマスガ、是ハドウ云フ意味デ矛盾ガナイト云フコトデアリマス、ソレカラ第三點ハ今確實ニソレガ出來ル出來ヌト云フコトハ第二トシテ、私ノ想像スル所ニ依リマス、地方ニ今度ハ教育廳ガ出來テ、教育支廳ガ出來ル、或ハ食糧管理局ガ出來ルカモ知レヌ、ソレカラ交通管理局、是ハ現在デハ今迄運輸管理局ガアルト同ジコトデ、交通管理局ガ出來ル、サウシテ或ハ土地管理

局ガ出來ルカモ知レヌ、土地管理局若シクハ戰災復興支局、炭礦管理局、斯ウ云フモノガ出來ル後ニ於テ、此ノ出來タ其ノ長官ハ官吏デアルトスレバ、矢張り彼ニ先ニ第二點ニ舉ゲタ官吏ノ考ヘ方ト云フモノデハ、地方ノ公務員トハ別ニナルト思フノデアリマス、公務員ハ總テニ奉仕スル、斯ウ云フコトハ公務員ニ與ヘラレテ居ルケレドモ、サウ云フ官吏ト云フモノノ奉仕ノ對象ヲ限定スレバ、公務員ニモ自ラ限定ガ出來ル、サウスレバ、自ラ對立ト云フモノニナル、其ノ時ニ當ツテサウ云フ今申シタ如キ各廳ガ官吏トシテ出來タ場合ニ、公選セラレタル公務員ハ、改正憲法施行迄ハ官吏トスルト、斯ウ云フ意味デアルガ、併シ先ニ第一點ニ疑義ヲ持ツタ如キ考ヘ方ガ誤ラト、斯ウ云フコトニナレバ、既ニ是ガ違フ、若シ各廳ガ出來テ、サウシテ選舉ニ依ツタ府縣知事ト云フモノガサウ云フ風ニ考ラ決メラナラバ、殆ド行政權ハ制限サレテシマフト思フノデアリマス、制限サレテシマツテハ公選知事ト云フモノハ極メテ小範圍ノ孤立デアル、斯ウ思フノデアリマス、ソレニ付テ政府ノ考ヘドウ云フ點ニアルカ、ソレカラ第四ノ點ハ大凡今度ノ地方制度ノ改正ヲシマシテモ、市町村ニ於ケル各種ノ團體ヲ活動セシムル爲ニ、其ノ市町村長若シクハ府縣知事ノ相當ナル統合ノ指導ヲスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是ハ私共ガ大イニ贊成スルノデアリマス、贊成スルノデアリマスガ、其ノ贊成ヲシタ結果ニ於テドウデアルカト云フト、今ノヤウニ官廳ノ色々ナモノヲ拵ヘテ行クト云フト、名ハ政府ノ説明ノ如ク、今度ノ改正ハ地方自治體ノ民主化デアル、民主主義ノ徹底セラ

アル、民主性ノ確立デアルト言ツテモ、極メテ其ノ範圍ガ狭クナル、斯ウ云フコトニ付テドウ云フ風ニ御考ニナルカ、ソレカラ尙第五トシテハ、公務員ヲ、近ク提案セラレル所ノ公務員法ニ付テソレ等ノ問題ヲ決メラレルト云フ御考デアルカ、ソレハ、地方行政ハ一元デナケリヤイカスト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、知事ニ一元シナケレバイカスト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、其ノ一元ノ事實ヲ、口ニハ一元ト稱シテ、事實ニ於テハ一元ドコロデハナイ、殆ド縣知事ノ權限ガ或意味ニ於テ著シク制約サ

ル、ト云フ結果ヲ見ルト思フノデアリマス、サウ云フ意味カラ考ヘテ、ソレモ矢張り公務員法ニドウ云フ風ニ考ヘラレルカ、是ハ約メテ申セバ内務省ニ關係シテ居ル所モ可ナリ大キナ問題デアルト思フノデアリマス、先程内務大臣ノ御説明ヲ伺ツテ居リマス、府縣ノ統合ノ上ニ於ケル道州ノ考ヘ方ニ付テ私ハ斯様ニ承ツタノデアリマス、現在ニ於テ縣ヲ或ハ距離ノ短縮其ノ他ニ依ツテ廢合スルト云フ意味ハ現在ノ處持ツテ居ラス、更ニソレニ對シテハ戰時中ノ總監督其ノ他ノモノハ變ヘルトシテ、道州ト云フモノヲ現在ハ採入レテ居ラスケレドモ、將來考ヘラレルカモ知レヌ、ソレニ對テ官吏組織ニスルノ自治組織ニスルノトアル、斯ウ云フコトナノデアリマス、私ハ其ノ問題ニ付テハ官吏組織ト云フモノヨリ所謂自治組織ニナルベキモノデアルト、斯ウ思ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトヲ色々綜合ノ考ヘルト、今御尋ネ申スヤウナコトガ根本ニナルノデアリマス、ソレデアリマス大臣ノ御説明ヲ承ルト、民主主義ノ徹底セラ

レルト云フ御意圖ノ如クニ聽ケマスノ
デアリマスガ、併シ其ノ法文ノ上デ
色々考ヘテ見ルト、ソレヨリモ選ツタ
方面ニ相當ニ考ガアルガ如クニ見エ
ルガ、サウ云フ點ニ於テ今ノヤウナ御
申スノデアリマス、今迄ノヤウナ御
許シテ御説明デナクテモ宜シイガ、今
伺ツタコトニ付テ簡明デ宜イカラ御答
ヲ御願シタイと思ヒマス

○國務大臣(大村清一君) 御尋ノ第一
點ハ、憲法第十條ノ但書ニ依ツテ出來
マス官吏モ齊シク天皇ノ任命大權ニ依
ツテ任命サレモト云フヤウニ御了
承ヲ願ヒタイと思ヒマス、尙此ノ點ニ
付キマシテハ御許シテ得マシテ、後デ
他ノ政府委員カラ他ノ事例等モ引キマ
シテ、更ニ御説明ヲ申上ゲタイと思
ヒマス、ソレカラ次ニ公務員ニ關スル點
デアリマスガ、現行憲法ノ施行中ニ於
キマシテ、知事ガ公選セラレテ官吏ニ
任命サレテ官吏知事ガ出來タト云フ場
合ニ於キマシテハ、官吏知事ニ關スル
限リハ、是ハ固ヨリ現行ノ官吏服務紀
律ガ適用サレコトデアリマシテ、ソ
コニ實際問題ト致シマシテモ何等疑義
ハ生ジナイと思フデアリマス、尙又
新憲法ガ實施セラレト云フ時期ニナ
リマスレバ、新憲法ノ精神ニ從ヒマシ
テ、現在ノ官吏服務紀律ハ適當ニ是ハ
修正セラレベキモノデアラウトと思
ヒマス、新憲法ノ條文ニ依リマス、或ハ
官吏法ト申シマス、或ハ公務員法ト
申シマス、後者ノ場合ニ於キマシテ
ハ、恐ラク官吏、公吏又含メタ意味ノ
公務員法ガ制定サレルコトと思ヒマ
ス、其ノヤウナ新法律ニ於キマシテ、
現在官吏服務紀律或ハ各種ノ官制ニ
アリマス規定ガ、新憲法ノ趣旨ニ從
ヒマシテ改正サレルモノト思フデアリ

マス、サウナリマスレバ、其ノ時期ニ
ナリマシテ、知事ノ公吏ニ切換ヘルト
云フコトニ相成リマスレバ、公務員法
ニ依ツテ規律サレルコトデアリマス
テ、又何等ノ支障ナク行ハレルモノト
思フデアリマス、併シ何レニ致シマ
シテモ、現在ノ官吏服務紀律ノ第一條
ノ精神トナツテ居リマス所ハ、結局
天皇及ビ政府ノ忠誠ヲ捧ゲテヤツテ行
クト云フコトモ、亦新憲法ニアリマス
ヤウナ全體ノ公僕デアツテ一部ノモノ
デナイト云フ公務員ノ規定モ、根本ノ
趣旨ニ於キマシテハ、私ハ何等變ハ
ルモノハナイモノト考ヘテ居ル次第デ
アリマス、ソレカラ第三點デゴザイマ
スガ、今後地方ニ於キマシテ、特殊ノ官
廳ガ設置サレルカドウカト云フ問題
ニ付キマシテハ、全ク未決ノ問題デア
リマシテ、之ニ付キマシテハ今後ノ研究
立案ニナルコトデアリマシテ、又當然
今後ノ地方官廳ニ付キマシテハ從來ト
違ヒマシテ、官制ト云フヤウナ議會
關係ノナイモノデ運用サレマセメデ、
官廳ニ付キマシテモ必ズ國會ノ議決ヲ
經テ決メラレルモノト思フデアリマ
シテ、其ノ行キ方ニ付キマシテ、今直
チニ私ガ、此ノヤウニナルト云フヤウ
ナ豫測ヲ立テルコトハ、非常ナ困難ナ
時期デアリマス、何レ此ノ問題ニ付
マシテハ、民主的ナル研究ニ依リ立案
サレ、又是ガ民主的ニ決定サル、モノ
ト思フデアリマス、從ツテ一ニ今後
國家運営ノ最高機關デアリマス所ノ國
會ニ依ツテ萬事ハ決セラル、譯デアリ
マスガ、併シ是ハ私ノ豫想ノ申シマス
カ、希望ヲ申上ゲマス、丁度松尾サ
ンノ抱懷サレテ居リマス御考ト全ク同
一ニ進ンデ欲シ、又進ムベキデハナ
イカト云フヤウニ考ヘマス、之ヲ他ノ

言葉デ申シマスルナラバ、地方自治
團體ガ眞ノ意味ニ於キマシテノ自主
性、自律性ヲ持ツテ行クト云フ線ニ沿
ウテ、今後決定サルベキデハナイカト
思ヒマス、唯名目上ソコニ自主性、自
律性ヲ與ヘマシテ、實際ニ於キマシ
テハ、主要ナ事務ガ他ノ官廳、他ノ機關
ニ分割サレマシテ、形式上ダケノ自主
性、自律性ヲ地方公共團體ガ持チ、實
質ハ他ニ在ル、乃至ハ他カヲ非常ナ制
約ヲ事實上受ケルコト云フヤウナコト
アツテハナラナイト云フヤウナコト
居ル次第デアリマス、併シ是カラハ何
レ民主的ニ解決サレルコトデアリマ
スガ、私ノ所見ヲ申上ゲマス、只今
申上ゲマシタヤウナ次第デアリマス

○政府委員(船橋一君) 大臣ノ御説明
ニ加ヘマシテ、初ニ御尋ノ點ヲ申上
ゲマスレバ、現行憲法ノ下ニ於キマシ
テハ、官吏ハ直接タル間接タルヲ問ハズ、
總テ天皇ノ任命大權ニ基イテ任命サ
レ、例外ヲ認メラレマセコトハ、當然ノ
コトト存ズルデアリマス、但シ官吏ノ
種類ニ依リマシテ、資格要件ナリ分限
等ニ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ認メ
ラマスルコトハ、憲法第十條ガ自ラ認
メテ居ル所デアリマシテ、例ヘバ裁判
所構成法ノ如キ、行政裁判所法ノ如
キ、會計検査院法ノ如キ、或ハ判事懲
戒法ニアリマスヤウナ除外ニ關スル
ノ、是等ハ一般ノ官吏任免大權ニ對
スル特別ノ成シテ居ルモノデアリマ
ス、從ヒマシテ此ノ度ノ地方制度ニ於
キマシテ、都長官又ハ府縣知事ハ、其
ノ被選舉權アル者ニ付テ選舉人ヲシテ選
舉セシメ、其ノ者ニ付テ任ゼラレマス
ルヤウニ規定致サレテ居リマスルコト
ハ、如何ナル者ヲ官吏ニ任命スベキ
ノ資格要件ニ付キマシテ、法律自體ニ

特定ノ規定ヲ設ケマスルコトヲ認メ
ラマシタモノデアリマシテ、官吏任免
大權ノ發動上カラ見マスルナラバ、正
シク官吏任用資格ノ憲法第十條ニ申シ
マシテ、特別ニ當ルモノデアリ、從ツ
テ憲法ノ御趣旨ニ明瞭ニ合ツテ居ル
モノト存ズルデアリマス、唯法律ヲ以
テ別段ノ規定ヲナスト申シマシテモ、
一定ノ要件ヲ具備シテ居リマス者ハ
當然ニ官吏トナリマス、何等任命ヲ
手續ヲ要セズシテ官吏ノ身分ヲ取得ス
ルコト云フガ如キコトヲ考ヘマスルナ
ラバ、是ハ恐ラク任命大權ノ精神ニ背反
スルモノト存ズルデアリマス、併シ
ナガラ只今申述ベマシタヤウニ、資格
ノ要件ニ付キマシテノ特定ノ規定ガ地
方制度上規定致サレテ居リマスコト
デアリマスルカラ、從來ノ官吏ノ任用
ニ付キマシテハ、確カニ新シイ形デア
ルノデアリマスルガハ、是ハ憲法自ラ豫
想シテ居リマスル新シイ形態ノ任命大
權ニ關スル一種ノ制限デアリマシテ、
之ニ依リマシテ寧ろ地方行政運営ノ理
想ト國家行政運営ノ理想トガ現實的
ニ調和スル點ヲ發見セムトスルコト
デアリ、法律上モ何等支障ノナイコト
考ヘテ居ル次第デアリマス

○松尾國松君 大體ハ分リマシタガ、
今ノ御説明デ尙一ツ御尋申シテ置キ
マス、一體現在ノ官吏任命ト同ジヤウ
ニ意味ノ官吏デアルト云フ御説明ノヤ
ウニ私ハ承ツタデマスガ、其ノ承ツ
意味デ一ツ御尋申スノデアリマス
ガ、然ラバ官吏任命ト云フモノノ、公
選ニ依ツテ其ノ地位ヲ取得シタ者ハ任
用令ニ、マア改正スルト云フナラバ格
別デアリマスガ、現在ハ任用令ニナ
イサウ云フ選舉ニ依ツテ其ノ地位ヲ獲得

スルト云フコトハ任用ノ範圍デナイ、
斯ウ云フ風ニ考ヘラレルデアリマス、
更ニ行政裁判所、若シクハ會計検査院
ノ例モアリマシタガ、其ノ例ハ多クハ
任用權ノ意思ノ發動ガ主ニナツテ居
ル、今度ハサウデナクテ地方住民ノ意
思ノ發動ニ依リテデアリマス、從ツ
テソレニ依ル者ヲ同ジ任用令ニ依リ
デアルト云フコトハ、理論的ニモ通
ズト考ヘラレル、之ヲ何故斯ク繰返シ
申スカト云フ、其ノ考ガ本ニナル爲
ニ、官吏ハ國ニ奉仕スルノデアルト云
フ別個ナ考ガ起ルデアリマス、私
ノ考ヘ方デハ改正憲法ノ趣旨ハ、公務
員一定シテ居ルト思フ、其ハ公務員
云フ者ハ全體ニ奉仕シテ、部分ニ奉
仕スルモノデナイ、此ノ全體ニ奉仕
ト云フコトハ、其ノ民族ガ構成スル
國家ニ忠誠ナルコトハ、奉仕スルコト
ハ勿論デアリマスガ、延イテハ世界人類
ニ奉仕スルコト云フ意味ニ進歩展スベ
キモノデアルト考ヘルデアリマス、サ
ウ云フ考ノ基礎ノ下ニ於テハ、公務
員ノ考ヘ方ト云フモノハ、何レモ同
トデアル、然ルニ公務員ノ中ニ於テ任
命サレタ官吏ト云フモノノ標準ト申
スカ、奉仕ノ目的ト申スカハ、其ハ政府
ニ限定サル、ト云フコトハ、自ラ同
選舉サレタ公務員ノ中ニ二ツノ對立
來ス、更ニ之ヲ從來ノ例ニ依リマス
ト、地方團體ト云フモノハ國ト對立
スベキモノデアル、國ト一一致デナイ
モノト云フコトハ、其ノ組織スル組織
ノ中ニ既ニ二ツノ考ヲ持ツ、斯ウ云
果ニナルデアリマス、具體的ノコト
申セバ、自分ハ官吏デアラカラ國ニ
仕スルノデアル、或ハ政府ニ忠勤ヲ盡
ス、斯ウ云フコトハナル、一方ニ於
テハ地方團體ニ奉仕スルノデアル、斯

言葉デ申シマスルナラバ、地方自治
團體ガ眞ノ意味ニ於キマシテノ自主
性、自律性ヲ持ツテ行クト云フ線ニ沿
ウテ、今後決定サルベキデハナイカト
思ヒマス、唯名目上ソコニ自主性、自
律性ヲ與ヘマシテ、實際ニ於キマシ
テハ、主要ナ事務ガ他ノ官廳、他ノ機關
ニ分割サレマシテ、形式上ダケノ自主
性、自律性ヲ地方公共團體ガ持チ、實
質ハ他ニ在ル、乃至ハ他カヲ非常ナ制
約ヲ事實上受ケルコト云フヤウナコト
アツテハナラナイト云フヤウナコト
居ル次第デアリマス、併シ是カラハ何
レ民主的ニ解決サレルコトデアリマ
スガ、私ノ所見ヲ申上ゲマス、只今
申上ゲマシタヤウナ次第デアリマス

○政府委員(船橋一君) 大臣ノ御説明
ニ加ヘマシテ、初ニ御尋ノ點ヲ申上
ゲマスレバ、現行憲法ノ下ニ於キマシ
テハ、官吏ハ直接タル間接タルヲ問ハズ、
總テ天皇ノ任命大權ニ基イテ任命サ
レ、例外ヲ認メラレマセコトハ、當然ノ
コトト存ズルデアリマス、但シ官吏ノ
種類ニ依リマシテ、資格要件ナリ分限
等ニ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ認メ
ラマスルコトハ、憲法第十條ガ自ラ認
メテ居ル所デアリマシテ、例ヘバ裁判
所構成法ノ如キ、行政裁判所法ノ如
キ、會計検査院法ノ如キ、或ハ判事懲
戒法ニアリマスヤウナ除外ニ關スル
ノ、是等ハ一般ノ官吏任免大權ニ對
スル特別ノ成シテ居ルモノデアリマ
ス、從ヒマシテ此ノ度ノ地方制度ニ於
キマシテ、都長官又ハ府縣知事ハ、其
ノ被選舉權アル者ニ付テ選舉人ヲシテ選
舉セシメ、其ノ者ニ付テ任ゼラレマス
ルヤウニ規定致サレテ居リマスルコト
ハ、如何ナル者ヲ官吏ニ任命スベキ
ノ資格要件ニ付キマシテ、法律自體ニ

特定ノ規定ヲ設ケマスルコトヲ認メ
ラマシタモノデアリマシテ、官吏任免
大權ノ發動上カラ見マスルナラバ、正
シク官吏任用資格ノ憲法第十條ニ申シ
マシテ、特別ニ當ルモノデアリ、從ツ
テ憲法ノ御趣旨ニ明瞭ニ合ツテ居ル
モノト存ズルデアリマス、唯法律ヲ以
テ別段ノ規定ヲナスト申シマシテモ、
一定ノ要件ヲ具備シテ居リマス者ハ
當然ニ官吏トナリマス、何等任命ヲ
手續ヲ要セズシテ官吏ノ身分ヲ取得ス
ルコト云フガ如キコトヲ考ヘマスルナ
ラバ、是ハ恐ラク任命大權ノ精神ニ背反
スルモノト存ズルデアリマス、併シ
ナガラ只今申述ベマシタヤウニ、資格
ノ要件ニ付キマシテノ特定ノ規定ガ地
方制度上規定致サレテ居リマスコト
デアリマスルカラ、從來ノ官吏ノ任用
ニ付キマシテハ、確カニ新シイ形デア
ルノデアリマスルガハ、是ハ憲法自ラ豫
想シテ居リマスル新シイ形態ノ任命大
權ニ關スル一種ノ制限デアリマシテ、
之ニ依リマシテ寧ろ地方行政運営ノ理
想ト國家行政運営ノ理想トガ現實的
ニ調和スル點ヲ發見セムトスルコト
デアリ、法律上モ何等支障ノナイコト
考ヘテ居ル次第デアリマス

○松尾國松君 大體ハ分リマシタガ、
今ノ御説明デ尙一ツ御尋申シテ置キ
マス、一體現在ノ官吏任命ト同ジヤウ
ニ意味ノ官吏デアルト云フ御説明ノヤ
ウニ私ハ承ツタデマスガ、其ノ承ツ
意味デ一ツ御尋申スノデアリマス
ガ、然ラバ官吏任命ト云フモノノ、公
選ニ依ツテ其ノ地位ヲ取得シタ者ハ任
用令ニ、マア改正スルト云フナラバ格
別デアリマスガ、現在ハ任用令ニナ
イサウ云フ選舉ニ依ツテ其ノ地位ヲ獲得

スルト云フコトハ任用ノ範圍デナイ、
斯ウ云フ風ニ考ヘラレルデアリマス、
更ニ行政裁判所、若シクハ會計検査院
ノ例モアリマシタガ、其ノ例ハ多クハ
任用權ノ意思ノ發動ガ主ニナツテ居
ル、今度ハサウデナクテ地方住民ノ意
思ノ發動ニ依リテデアリマス、從ツ
テソレニ依ル者ヲ同ジ任用令ニ依リ
デアルト云フコトハ、理論的ニモ通
ズト考ヘラレル、之ヲ何故斯ク繰返シ
申スカト云フ、其ノ考ガ本ニナル爲
ニ、官吏ハ國ニ奉仕スルノデアルト云
フ別個ナ考ガ起ルデアリマス、私
ノ考ヘ方デハ改正憲法ノ趣旨ハ、公務
員一定シテ居ルト思フ、其ハ公務員
云フ者ハ全體ニ奉仕シテ、部分ニ奉
仕スルモノデナイ、此ノ全體ニ奉仕
ト云フコトハ、其ノ民族ガ構成スル
國家ニ忠誠ナルコトハ、奉仕スルコト
ハ勿論デアリマスガ、延イテハ世界人類
ニ奉仕スルコト云フ意味ニ進歩展スベ
キモノデアルト考ヘルデアリマス、サ
ウ云フ考ノ基礎ノ下ニ於テハ、公務
員ノ考ヘ方ト云フモノハ、何レモ同
トデアル、然ルニ公務員ノ中ニ於テ任
命サレタ官吏ト云フモノノ標準ト申
スカ、奉仕ノ目的ト申スカハ、其ハ政府
ニ限定サル、ト云フコトハ、自ラ同
選舉サレタ公務員ノ中ニ二ツノ對立
來ス、更ニ之ヲ從來ノ例ニ依リマス
ト、地方團體ト云フモノハ國ト對立
スベキモノデアル、國ト一一致デナイ
モノト云フコトハ、其ノ組織スル組織
ノ中ニ既ニ二ツノ考ヲ持ツ、斯ウ云
果ニナルデアリマス、具體的ノコト
申セバ、自分ハ官吏デアラカラ國ニ
仕スルノデアル、或ハ政府ニ忠勤ヲ盡
ス、斯ウ云フコトハナル、一方ニ於
テハ地方團體ニ奉仕スルノデアル、斯

言フト、ソコニ大キナル相違が生ジテ
來ルノミナラズ、一方ニ於テ斯ウ云フ
問題が起リマス、地方住民カ多言フ
ト、ソレハ地方ニ率仕スル精神デナイ
カラシテ、我々ノ機關トシテハ信用シ
ナイト云フヤウナ議論モ出テ來ル、ソ
レデアアルカラサウ云フ考ヘ方ガ寧ろ
盾ヲ來ス結果生ズル、斯ウ云フ風ニ
考ヘラレル、ソレデアリマスカラ此ノ
公務員ノ選定サル、ニ當ツテ、私共ハ
是ハ重大ナル問題デアルト思ヒマス、
私ハ實ハ此ノ頃モ斯ウ云フコトヲ話合
ツテ居ルノデスガ、今度地方制度ノ改
正案ガ衆議院デ相當多數ノ個所ヲ修正
ガアツタ、斯ウ云フコトハ私ハ當然デ
アルト思フ、決シテ内務省ノ成案ガ惡
カツタノデモ何デモナイ、是ハ當然デ
アル、ソレカラ審議ニ日ガ要ルノモ當
然デアアル、ソレハドウ云フノデアアル
ト云フト、從來ノ言葉ヲ以テ申セバ、
其ノ官廳ガ斯ク爲サシムルノデアアル、
斯ク爲スベキデアアル、斯ウ云フ風ナ
ヘ方カラ出テ居ツタノデアアル、ソレカ
ラ今日ハ所謂ソレヲ受クル方ノモノ
ガ、斯ク爲スノデアアル、斯ク爲ス義務
ヲ持ツノデアアル、爲サシムルノデナク
テ爲スベキ義務ヲ持ツモノデアルト云
フ點カラ、義務ヲ果ス意味ニ於テ、責
任感ノ上カラニ於テ、最も適切ナルコ
トヲ法ノ上ニ表ハス、斯ウ云フコトカ
ラ改正ガ起ツテ來ル、從ツテ先達テ内
務大臣ノ御説明ニアリマシタ如ク、其
ノ途ニ多年經驗ヲ積ンダ人ノ意見デア
ル、ト斯ウ云フ御話デアアルガ、私ハ御
尤モドト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於
テ修正ヲサル、ノデアアルカラ、修正ノ
個所ノ多イノモ尤モデアレバ、審議ニ
日ガ要ルノモ尤モデアアル、斯ウ云フ風
ニ考ヘルモノデアリマスガ、サウ云フ

風ニ考ヘルト、ドウシテモ官吏ト云フ
モノハ、私ハ大體改正草案ニ於テ第七
條ノ第五號ニ、國務大臣及ビ法律ニ依
ツテ定ムル官吏トアリマスガ、此ノ官
吏ト云フモノハ、憲法改正案ニ依ル公
務員ニ一任セラル、モノデアルト、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ
コトヲ申上デルト各條ヲ引カネバナラ
ヌデ時間ガ掛カルノデ省イテ置キマス
ガ、サウ云フ風ニ憲法改正ノソレハ、
ノ條項ト連絡シテ考ヘテ見ルト、サウ
云フ風ニ考ヘルトデアリマスガ、ドウ
シテモ茲ニ官吏ハ從來ノ如ク其ノ政府
ニ忠實ニ、勿論政府ト云フコトヲ廣義
ノ發展、斯ウ云フコトニナリマスガ、
ソレハ別ナ解釋デアツテ、今日迄ニ於
ケル解釋ト云フモノハ、感ズ、事實、
斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマ
ス、從ツテ考ヘ方ガ違ツテ來ル、此ノ
考ヘ方ガ違フ爲ニ、現在ニ於テ官僚、
マア官僚ト云フ言葉ハ古イカモ知レマ
セヌガ、官僚ニ對シテ色々ナ批評ヲ加
ヘル、斯ウ云フコトハ此ノ考ガ本ニナ
ツテ來テ居ルノデアリマス、デ私共ハ
此ノ考ヲ變ヘナケレバ、公務員法改變
ハラナケレバ教育ニモ及シマス、教育
ニモ矢張り及ス、マアハツキリシタ言
葉デア言ヘバ、ドウ方面ニモ從來ノ如ク
官僚卑劣、斯ウ云フコトニナリマス、
官ハ主目的ニ意見ヲ常ニ持ツテ居ツ
テ、サウシテソレヲ押シ付ケルガ如キ
態度、之ヲ獨斷ト稱スル、斯ウ云フコト
ニナルノデアリマスガ、此ノ根本問題
ガ公務員法改變マナケレバ、私ハ改
正憲法ノ趣旨ニ副フモノデアナイト、斯
ウ云フ風ニ考ヘルトデアリマスガ、
只今迄ノ御説明ニ依ルト、公務員ノ中
ニ官吏ト公吏トアル、斯ウ云フ風ニナ

ツテ、自ラ其ノ間ニ率仕ノ標準ト申ス
カ、目的ガ變ハルト、斯ウ云フ意味ハ
私ハドウシテモ此ノ憲法ニ依ツテ矛盾
ガアルト、斯ウ考ヘルトデアリマス
ス、第一番ニ國會法ノ草案ニ於ケルマ
シモ、書記官長ハ官吏トセズ公務員ト
スルト云フコトニナツテ居リマスガ、
是ナゾデモドウ云フコトデアルト云フ
ト、私ノ解釋ニ依レバ、書記官長ハ職
會ニ率仕スルモノデアツテ、國ノ率仕
デアナイト、斯ウ云フコトニ考ヘラレ
ル、サウスルト云フコト、サウ云フコト
ヲ一ツノ考ヘテ行クト云フコト、矢張
リ考ヘ方ノ分裂ヲ來スト云フコトニナ
ルト思ヒマス、私ハ更ニ論ズルナラ
バ、大體今迄唱ヘラレタ自治體ニ於テ
固有ノ事務ト委任事務ト云フモノハ、
大體私ノ考ハサウ云フモノハナイト考
ヘテ居リマスガ、ソレハ仔細ニ檢討ス
レバ何レモ國家率仕ノ目的ノモノデア
ツテ、其ノ住民ガケノモノデアナイ、ソ
レハ小サク約メバ小サイ道路ガ町村
ニアルガ、其ノ小サイ道路ハ國民ガ通
ルカラ國家率仕デアアル、新憲法ノ規定
ハサウ云フ意味デアアル私ハ確信シテ
居ルノデアリマスガ、從來ノ如キ考ヘ
方ハ全然變ハルモノデアルト、斯ウ云
フ意味カラ、今ノヤウナ意味ニ於テ公
務員法ニ二ツニナルト云フコトハ理論
的ニ成立タヌ、斯ウ云フコトヲ考ヘル
者デアリマス、マアソレニ付テドウシ
テモ二ツデアルト、斯ウ云フコトニ御
考ヘニナルカドウカト、斯ウ云フコト
デゴザイマス

條件ニシテ、ソレニ基イテ任命サレル
ト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、其ノコトハ憲法第百條ノ但書、此
ノ但書ニ依リマシテ憲法ニ抵觸スルモ
ノデアナイ、唯サウ云フヤウナ事例ガ
今迄餘リナカツタト云フコトハ事實デ
アリマスガ、併シ憲法ニ抵觸スルモノ
デハナイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第
デアリマス、尙又其ノ現在ノ官吏職務
規律ト云フヤウナモノハ、何レ新憲法
ノ精神ニ從ヒマシテ公務員法トモ言フ
ベキモノノ中ニ於ケマシテ、適當ニ是
ハ改正サレルト云フコトヲ私ハ豫想致
シ必ズサウナルデアラウト云フヤウニ
考ヘテ居ル次第デアリマス、尙又其ノ
公務員法トモ言フベキモノハ立案ヲサ
レル場合ニ於ケマシテ、是ハ今日迄ニ
キマスル官吏モ公吏モ規律サレルモノ
デアラウト思ヒマス、是ハ官吏公吏ト
云フヤウナコトハ區別致シマセヌ、公
務員全體トシテノ心掛ナリ、任用ナリ
或ハ待遇ナリ、斯ウ一律ニ取扱ハレテ
然ルベキモノダト思フノデアリマス、
唯區別サル、點ハ、國庫カラ俸給ガ出
ル者ハ官吏デアアル、地方國體カラ俸給
ノ出ル者ハ公吏デアアルト云フ位ヲ區別
以外ハ、全部一律ニ規律サル、ノガ至
當デアルト私モ考ヘテ居ル次第デアリ
マス、是ハ今後は非立案シ、議會ノ御
議決ニ依ツテ決マルコトデアリマス
ガ、新憲法ノ精神カラ申シマシテ、又
日本ノ從來ノ封建的ナ、或ハ官僚的ナ
政治ヲ民主主義的ナ政治ニ直ス點カラ
見マシテモ、斯様ナ方向ニ於テ進ムモ
ノデアラウト云フヤウニ私モ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○委員長(白根竹介君) 山隈委員ニ御
尋シマスガ、午前中ノ文部省ニ關聯シ
タコトデ……
○山隈委員 午前中ノ文部省大臣ニ對シマ
シテ、市町村ト國民教育トノ關係ニ付
テ質問ヲ致シマシタガ、是ハ文部省ノ
所管デアリマス、幸ニ文部大臣ガオイ
デニナツタヤウデアリマスルカラ、多
少前ヨリ繰返ス點ハアリマスルカラ、御
尋申上ゲタイト思ヒマス、市町村ニ
於テ國民教育ニハ重大ナル關心ヲ持
チ、全部ノ子弟ヲ委託ヲ致シマシテ、
絕對ノ信頼ト尊敬ヲ以テ國民教育ニ
接觸シテ居ツタ次第デアリマス、然ル
ニ從來ノ法制ニ依リマスルト、國民教
育ト市町村トノ間ニハ何等ノ繋リガナ
イデアリマス、今少シク連絡ヲ密ニ
致シマシテ、我々ノ學校、我々市町村
ノ學校デアルト云フ觀念ノ下ニ尙一層
國民教育ニ信頼ヲ厚クシ、且之ヲ擁護
シ、其ノ完成ヲ期スルヤウノ努力シタ
イト思フノデアリマス、自主權ハ非常
ニ擴大シ、殊ニ教育分權モ唱ヘラレテ
居ル際デアリマスルカラ、此ノ際市町
村ト國民教育トノ連絡、例ヘバ數年來
大分問題ニナツテ居リマスル所ノ小學
校ノ俸給、是ハ特別市ニハ唯市長ヲ通
ジテ給料ヲ出ス、市町村ハ市町村ノ豫
算ニ入レテ、サウシテ之ヲ教員ニ交付
スル、其ノ關係デ此ノ教員ト市町村ト
ノ間ニ一種ノ連絡關係ガ生ズル點デア
リマス、併シ斯ウ云フ主張ハ到頭時ノ
政府ガ採用スル所トナナカツタノデ
頗ル遺憾ニ存ジテ居リマスルガ、文部
大臣ハ此ノ連絡ニ付テドウ云フ御考ヲ
御持チニナツテ居ラレルカ、一應御伺
シタイト思ヒマス
○國務大臣(田中耕太郎君) 教育ノ地
方分權化ト云フ問題ニ付キマシテハ、

昨年來文部省ト致シマシテモズット研究ヲ續ケテ今日ニ至ツテ居リマス、マダ併シ確定案ヲ得テ居ル譯デハゴザイマセヌシ、是ハ特ニ關係方面モ色々アルノデアリマス、最モ關係密接ナノハ内務省デアリマス、尙是ハ色々ナ根本問題ガゴザイマシテ、最近ニ發足致シマシタ教育刷新委員會ノ議ニモ略ラナケレバナラナイコトデアリマス、何レニ致シマシテモ、教育ノ地方分權ト云フコトハ、是非常ニ必要ナコトデアリマス、殊ニ此ノ教育ニ付テハ官僚的ノ統制ト云フコトヲ非常ニ嫌ヒマス、尙其ノ半面ト致シマシテ、地方ノ教育界ノ發達タル機能發揮ヲ助長スルコト云フヤウナ方向ニ向イテ行カナケレバナリマセヌ、サウ云フ見地カラ考ヘマスルト、現在ノ是迄ヤツテ參ッテ制度ハ是ハ米國ノ教育使團モ十分認メテ居ル譯デアリマス、我々ト雖モ教育使團ガ認メヨウガ認メマイガ、何ト力ハハ改革シナケレバナラナイコト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス、先程來ノ御質問ニモ關係シテ參ルノデアリマスガ、地方自治體ト云フモノハ有ル事務ニ付テ一元的ニ處理シナケレバナラナイコト云フコトモ、各々國ノ事務ノ性質ニ依ツテ自ラ限度ガアルコトハ、是ハ例ヘバ裁判所制度ト云フヤウナモノニ付テモ認メラレルトデアリマス、教育トド見ルカト云フコトハ、是ハ人々ニ依ツテ又判斷モ違フコトデアリマス、或意味一於キマシテ、例ヘバ費用ノ如キ、地方ガ負擔スルト云フコトハ、是ハ理想的デアリガ、今迄理想約ニ參ッテ居ナイノデアリマス、色々ソコニ問題ガアリマス、理想カラ言フト教員ノ費用ノ如キ、俸給ノ如キ、詰リ國家ガ負擔シテ支給スルト

云フコトガ、是ハ今迄ノ經驗カラ言フトサウナケレバナラナイヤウニ思フノデアリマス、併シナガラ之ニ對シテ逆行スル主張モゴザイマス、教育ノ根本ニ關シマス限リハ、日本教育ノ民主化ノ大方針、殊ニ軍國主義的、極端ナ國家主義的要素ヲ日本ノ教育界カラ排除スル、殊ニ新シイ、制定セラルベキ憲法ノ精神ニ則ツテ國民教育ヲ遂行スルカ、或ハ社會教育ヲ遂行スルカ、或ハ大學カラ國民學校ニ至ル迄ノ縱ノ線ヲハツキリサセル、ソコニ地方分權ノ精神ヲ織込シテ行ク、又社會教育ト學校教育トノ相互ノ關係ト云フコトヲ色々考ヘテ見マスルト、一市町村ノ活動ノ範圍ヲ教育スルモノガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ色々ナ方面カラ考ヘマシテ、教育ニ於ケル地方分權ト云フコトモ十分ニ檢討致シマシテ、内務大臣ガサツキ申シマシタヤウニ議會ノ議ヲ經テ、理想ニ近イ案ヲ得テ、速急ニ實現ニ移シタイト思フツテ居リマス、併シナガラ、此ノ場合附加ヘテ置キマスガ、此ノ場合ニ於キマシテモ公立學校ニ付キマシテハ市町村トノ關係ハ極メテ密接ナモノガアルノデアリマス、殊ニ此ノ施設ノ方面ニ對シテハ地元モ非常ニ關心ヲ持ツツテ居リマス、又關心ヲ持ツツテハナケレバナラナイコトデアリマス、度ガ確立セラレルカハ別トシテ、兎ニ角市町村トノ連絡ニ付テハ十分考慮シナケレバナラナイト考ヘテ居リマス

○山陽康君 只今教育行政ニ付テハ其ノ性質上市町村トノ連絡關係ニ於テモ自ラ限度ガアル、是ハマア御承知ノ通リデアルト思ヒマス、併シナガラ司法權ノ問題ヲ御引用ニナリマシタガ、是ハ御承知ノ如ク全ク獨立ノ機關デア

ル、ソレモ今度ハ簡易裁判所ト云フモノヲ市町村ニ設ケマシテ、市町村トノ繋リヲシテ、更ニ大福ニ各種ノ調停法ヲ設ケマシテ、サウシテ民間ノ人ヲ調停委員ニ參加セシメマシテ、其ノ土地ノ町村ヤ市ト相連絡協調致シマシテ、裁判ノ圓滿ナル運用ヲヤツテ行ク次第デアリマス、獨立セル裁判所デモ左様ナル所謂民主化ヲ一路辿ツテ居ル譯デアリマス、今一段ノ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、今一ツ改正憲法案ニ依リマシテ、基本的人權ガ確立シテ、國政ガ國民ノ手ニ移ツテ參リ、國民ノ責任ハ重大デアリマス、其ノ權利ノ中ニ最モ重キヲ爲シテ居リマス、國會議員ノ選舉、最高裁判所ノ裁判官ノ審査、或ハ地方公共團體ノ首長ノ任免、若シハ議會ノ解散請求、或ハ其ノ他種々認メラレテ居リマス、國民ガ國政ニ參加スル中心ハ國民投票ナンドアル、總テ是等ノモノハ國民ノ投票ニ依ツテ行ハレル譯デアリマス、然ルニ從來ノ此ノ投票ノ成績ヲ見マスルト、情實、因縁、請託等ニ因ハレマシテ、眞ノ公正ナル選舉ヲ見ル能ハザルコトハ、頗ル遺憾トスル所デアリマス、ソコデ私ハ一ツ教科書等ニ於キマシテ、國民投票ノ如何ニ重大ナルモノデアリカ、之ヲ公正ニ運用スルコト云フコトハ、國民ニ課セラレタル眞ノ大キナ義務デアルト、斯ウ云フコトヲ一ツ教科書等ニ御編纂ヲ願ツテ、兒童ヲ通ジテ將來ノ立憲國民ノ完全ナル人格ヲ養成シタイト、斯ウ考ヘテ居リマスガ、大臣ノ御所感ハドウデアリマス、

○國務大臣(田中精太郎君) 新憲法案ガ實施セラレマスノニ當リマシテハ、特ニ地方ノ青年ナリ或ハ一般ノ青年層、ソレニ對シマシテモ公民教育ノ徹底ト云フコトガ必要ト存ジマス、公民教育ノ徹底、新憲法ノ精神ノ普及ト申シマシテモ、單ニ抽象的ノ掛辭ニ終ツチヤナリマセヌノデ、具體的ニ色々例ヲ示シマシテ、殊ニ學問ノナイモ澤山アル譯デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、卑近ナ事例ヲ採ツテ、又最モ重要ナル事例ヲ採ツテ説明シナケレバナリマセヌ、當面ノ一番必要ナル、又今後モ引續イテ重要ナル問題ハ、此ノ投票ノ問題デアリマス、之ガ詰リ民主主義的政治ノ入門デアリ、又之ガ公正ニ爲サレ、民主政治ハ大半完成シタト云ツテ宜イト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、特ニ文部省ト致シマシテモ、全力ヲ注イデ選舉ニ對スル心構ヘニ付テ、政府ガ新憲法ノ精神トシテ考ヘル所ノ徹底セシメタイト思フツテ居ル次第デアリマス、尙具體的ニ公民教育ノ立場カラノ教科書ノ編纂等ニ付キマシテハ、色々専門家ヲ煩ハシマシテ慎重ニ計畫致シタイト思フツテ居リマス、此ノ問題ニ對スル私ノ質問ハ終リマシタ

○委員長(白根竹介君) 多久男爵如何デスカ

○男爵多久龍三郎君 甚ダ遺憾デゴザイマスガ、少シク卑見ヲ述ベマシテ文部大臣ノ御意見ヲ煩ハシタイノデアリマス、此ノ度教育刷新委員會ガ出來マシテ、色々教育ノ根本的刷新ニ付キマシテ御審議ニナツテ居リマス、ルコトハ、新聞其ノ他拜承致シマシタ次第デアリマス、ソレニ依リマス、學區廢ノ制度ガ出來マスヤウナコトモ新聞ニ依リマシテ拜聽致シテ居リマス、之ニ依リマシテ教育ハ從來ノ他ノ行政部

門カラ全然獨立致シマシテ、國ノ行政上ノ問題ニ煩ハサレナク、一意教育ト云フ點ヲ達成シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、私共非常ニ有難ク感ジテ居リマス、此ノ度教育刷新委員會ガ、此ノ學區廢ノ制度ヲ付キマシテハ、新聞ニ僅カニ出テ居リマス、サウ云フコトハ、私共何等其ノ内容ハ分ラナイノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ文部大臣ニ、マダ御審議中デアリマセウケレドモ、多少トモ其ノ概要ヲ御示シ戴キマスレバ、誠ニ仕合セト存ジマス、今日教育職員ニ於キマシテ非常ニ色々不平ガアリマシテ、ソレガ爲ニ教員組合モモ盛ニ各地ニ出來テ居リマス、私共教育ニ多少關係致シテ居リマハ非常ニ贊成デゴザイマス、是ガ間違ツタ方向ニ向ヒヤシナイカト云フコトニ付キマシテ、當ニ關心ヲ持ツテ居リマス、次第デゴザイマス、第一教員組合ノ主張ハ何處ニ於キマシテモ、其ノ主張ノ第一ハ教學課程ノ公選ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ誠ニ理由ノアルコトデアリマス、私共モ贊成ヲ表スル點モアリマスガ、併シ又色々制度上、或ハ其ノ他ノ方面カラ見マシテ、一概ニ之ニ贊成スル氣分ニモナラナイノデアリマス、大體ニ於キマシテ論議上ニ於キマシテ他ノ官吏ヨリモ下位ダト云フヤウナ風ナコトニ付キマシテ、第一ニ不平ヲ持ツツテ居ルコトハ、是ハ當然ノコトデアツテ、又、重要ナコトデゴザイマスガ、之ヲ除キマシテ、所謂人事ニ面白カラヌ點ガアルト云フコトガ常ニ言ハレテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテ相當ノ不平ヲ持ツツテ居ルノデゴザイマスガ、殊ニ上

般ノ學校ニ於テハ左程ノコトモアリマセヌガ、國民ノ基本ヲ成ス所ノ最モ重大ナ責任ノアリマス國民學校、中學校、青年學校ノ教職員ニ、常ニ斯ウ云フ風ナ不滿、不平ノアリマスト云フコトハ、非常ニ、我國ノ將來ニ對シマシテ憂心スベキコトデハナカラウカト存ジマス、サウ云フ面ニ於キマシテ此ノ學區區ガ出來マシテ、人事其ノ他モ學區區ガ行ヘルト云フコトニ付キマシテハ、誠ニ有難イコトデゴザイマスガ、併シナガラ新聞ニ依リマス、學區區ノ一番首長ニナル御方ハ、大學總長デアルレウ云フ風ナ組織ニナツテ參ルカ分リマセヌガ、大體ニ於テ教職員ニ依ツテ之ヲ築キ上ゲルト云フヤウナ御趣旨デヤナカラウカト、實ハ仄聞スルノデゴザイマス、然ルニ只今迄教職員ノ出身デナイ若イ教職員長ニ依リマシテ、相當年功ノ教職員ガ左右サレルト云フコトニ付キマシテハ、多方面ニ於キマシテ不合理ダト云フ聲ヲ聽キマスコトハ私モ甚ダ同感デゴザイマスガ、併シナガラ教職員ノ中ニ、現ニ私ノ縣ナンカニ於キマシテモ、教學課長ハ現在ハ教員出身ノ人デゴザイマシテ、又教學課ニハ多數ノ校長出ノ人モ居ラレマスガ、校長デアル時ノ態度ト或ハ縣ノ視學、或ハ地方事務所ヘ入ラレタ場合、視學トナラレタ時ニ於キマシテハ態度ガ約變スルノデアリマス、デサウ云フ關係デ人事ニモ甚ダ未端ニ於テ面白カラヌコトガ教職員ノ中デ御互ニ起ル譯デアリマシテ、教職員ノ自體ニ依ル人事必ズシモ完全ト云フコトハ出來ナインデアリマス、此ノ間ニ俟ル人事ト云フコトハ、或ハ私共ノ縣ニ於テハ特ニ濃シイノカモ知レマセヌガ、併シナガ

ラ此ノ教職員ノ間ノ出來マシタト云フコトノ原因ハ、舊ノ過ツテ見マス、矢張り師範學校長等ノ、舊イ教育者ノ勢力ガ相當影響シテ居ルノデアリマス、必ズシモ教育者ニ依ツテノ此ノ人事ガ完全ニ行クト云フコトハ出來ナイコトハ、既ニ大學ニ於キマシテモ先生ノ間ニ隔ノアルト云フコトハ、私共學生時代ニ既ニ相當苦イ經驗ヲ持ツテ居リマス次第デゴザイマス、矢張り地方ノ教職員ノ人事、是ガ最も教育上ノ大事ナ根本問題デゴザイマス、之ニハ矢張り地方ニ於ケル學識アル民間人ヲ相當參加サセテ、サウシテ教育ニ非常ニ熱心ナ人ヲ之ニ參加セシメテ、教職員ノ不平ヲ離キ、人事ノ公正ヲ期スルト云フコトガ、私ニハ最も必要デナカラウカト云フ風ニ考ヘラレルノデゴザイマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ文部大臣ノ御高見ヲ伺ヒタイト存ジマス、又モウツツニハ縣區ニ於キマス行政ト、教育ノ方面ト、全然分離シマスヤウナ關係ニナリマス、先デハ宜イカモ存ジマセヌガ、只今ニ於キマシテハ、尙物質ノ配給ト云フ關係ガデザイマス、私ノ縣ナンカニ於キマシテモ、現角圓滑ニ參リマセヌデ、教職員ノ一番今欲シテ居リマスノハ、是ハ能デモ同僚デアリマスガ、彼等ハ精神方面ノ勞動バカリデナク、最近食糧其ノ他ノ關係モゴザイマスノデ、相當筋肉勞働モヤツテ居リマス、之ニ對スル地下足錢ノ配給、或ハ成ルベクハ其ノ學校ノ附近ニ住マハセルト云フ方針ノヤウデアリマスアレドモ、併シナガラ只今ノ住宅難ノ折デアリマスカラ、隣村カタ通フ者ガ相當アル、之ニ對スル自轉車ノ「タイヤ」ノ配給ト云フヤウナコトハ殆ドタイノデアリマス、而モ縣ニ

對シテハ相當配給ガアツテ居リマシテ、丁度教職員ノ俸給ガ縣ノ吏員ヨリモ以下デアルト云フノ正此例致シマシテ、配給面ニモソコニ非常ニ改善サルベキ面ガアルノデヤナカラウカトス様ニ考ヘルノデアリマス、學區區ガ出來マシテ縣區ノ方ト對立致シマス、對立ト云フキマセヌデモ、チヨット系統ガ違フト云フヤウナコトニナリマス、斯ウ云フ問題ニ於キマシテモ、亦相當困ツタ問題ガ起ツテ來ルノデヤナカラウカト斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ方面ニ於キマシテモ、縣ト密接ナ關係ヲ持チ、又縣ノ議決機關トカ、或ハ實行機關トモ十分密接ナル關係ヲ持ツテ、サウシテ其ノ教育ノ民主化ヲ圖ツテ戴キタイト云フノガ私ノ希望デゴザイマシテ、之ニ付キマシテ文部大臣ノ御高見ヲ拜聽致シマスコトガ出來マシレバ、誠ニ仕合せト存ズル次第デアリマス

○國務大臣(田中耕太郎) 多久男爵ニ御答ヘ申上ゲマスガ、學區區ノ案ハ新聞ニ掲載サレマシタアレドモ、アレハ文部省ガ幾ツモ持ツテ居リマス案ノ一ツ、而モ或段階ニ於ケル案デゴザイマシテ、關係各方面ノ了解ヲ得ナケレバナリマセヌガ、實ハアレガ新聞ニ出マシタコトハ、文部省トシマシテハ當惑致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、從ツテ只今御質問ガアリマシタ所ニ具體的ニ御答ヘ致ス迄ニハ參ツテ居リマセヌガ、併シドウ云フ目標ニ向ツテ考ヘテ居ルカ、極ク「アウトライン」ホソノ抽象的ナ構想ヲ申上ゲマスレバ、人事ニ對スル教員組合ノ方ノ不平ト云フコトハ、是ハ先程男爵ガ御指摘ニナリマシタヤウニ尤モナコトデアリマシテ、斯ウ云フ點ガ教育ノ地方分權

化ノ制度面ニ於ケル重要ナ點デハナイカト思ツテ居リマス、ソレカラ學區區制トシテ發表サレタモノニ付キマシテ、帝大總長ガ其ノ頭ニナルト云フヤウナコトモ、決シテ是ハ決ツテ居ルコトデハゴザイマセヌ、假ニ何等カノ形地方分權的ノ組織ガ出來マス致シマシテ、下部ノ方ノ組織ハ、是ハ矢張り一般ノ民間有識者ヲ入レルトカ、詰リ各界ノ中カラ代表的ノ人物ヲ重要ナル機關ニ採入レルト云フコトハ十分考ヘテ居リマス、從ツテ教育家ガ獨善ニナラナイヤウニ、大イニ努メナケレバナラナイト云フ風ニ存ジテ居リマス、ソレカラ先程御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、地方自治體、詰リ府縣、市町村等トノ連絡ノ問題、是モ只今御話ガアリマシタヤウニ、特ニ物質ノ配給ノ關係、又ハ材料關係、其ノ他府縣、市町村等ニ對シテ依存シナケレバナラナイ點ガ多クアリマス、是ハ詰リ例ヘバ私立學校ニ於キマシテ、學校ノ教育ソレ自身ト、別ニ學校ノ維持ニ關スル財團ト云フヤウナモノガアリマス場合ニ於テ、其ノ關係ト稍々類似シタ關係ニナルノデアリマシテ、學校ノ維持財團ガ、學校ノコトヲ細カク人事ニ迄干渉シテ來ルト云フノハ、是ハ好マシクナイ現狀デアリマス、ソレト同ジヤウニ現在ノ制度ハ、サウ云フ意味ニ於テ好マシクナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ制限ヲ自治體ハ假ニ持タナクナツタト致シマシテ、然ラバ知ラヌ前ラスモ知ラヌ前ラスルト云フコトハ、是ハ甚ダ面白クナイコトダト思ヒマス、併シナガラ制度上當然分離サレテ居レバ、サウ云フ結果ニ人情ノ弱點トシテ隔リ易イト云フコトニナリマス

コトガ構想出來マスカラ、其ノ間ノ連絡ハ矢張り附ケナケレバナリマセヌ、此ノ點ハ假ニ何等カノ地方分權的教育組織ガ出來ルト致シマスレバ、府縣ト市町村トノ方ノ當局ヲ、民間ノ有識者以外ニ矢張り加ヘルト云フヤウナコトヲ考慮致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ先程御話ニナリマシタヤウニ、地方ノ各縣カラ教育ニ關スル人事ガ離レタト致シマシテ、教育家自身デ然ラ六理想のニヤツテ行ケルカ、現在派閥的ノ弊害ガ隨分アルデヤナイカ、是ハ全ク御指摘ニナツタ通りデアリマシテ、教育界ニ於ケル派閥的ノ弊害ト云フモノノ弊害ハ、輿論ガ齊シク認メテ居ル所ト云フテ宜イノデアリマシテ、是ハ詰リ主トシテ現在ノ教員養成制度ノ根本ニ立チ入ツテ檢討シナケレバナリマセヌガ、サウナリマス、ソレガ改善セラレタ上、其ノ良イ影響ヲ見ルニ至ルノ相當ニ遠キ將來デアラウト思ヒマス、サウ云フ點ニ於キマシテハ、地方ノ何等カノ分權的の制度ガ假ニ出來ルト致シマシテ、中等教育、初等教育ノ世界ガ狹ク纏ツテ固マツテシマハナイデ、ソレ以上ニ高等專門學校ノ要素モソコニ加ハツテ來ルト云フヤウナコト、ナルト、中等學校、國民學校ノ先生方モ餘程眼界ガ廣クナリキス、サウシテ學問ノ教育ノ點ニ付テモ一層熱心ニナリ、自己ノ使命ニ邁進スルヤウニナリハナイイカト云フヤウナ聲デ、ソレカラ又先程申上ゲマシタヤウニ、各界代表ノヤウナ者モ何等カノ形地方ニ組織サルベキ委員會ニ加ヘルト云フヤウナ風ニ致シマシテ、派閥的ノ空氣ヲ段々稀薄ニスル、詰リ除去スルト云フヤウナ風ニ致シタイト思フサレバ次第デアリマス、甚ダ濃タル御聲

ニナリマシタケレドモ、現在迄ノ所ハ、色々ナ方面ニ關係モゴザイマスカラ、ソレ以上申上ゲ兼ネマス次第デアリマシテ、御了承願ヒマス。

○委員長(白根竹介君) 文部大臣ニ對スル質問ハモウ宜シウゴザイマス、餘リ地方制度ヲ離レタコトハ御聽キニナラヌヤウニ願ヒマス。

○子爵梅田篤義君 今朝程内務大臣ニモ御伺シマシテ、何分婦人ノ政治上ニ於ケル地位ガ一大飛躍ヲ遂ゲタモノデアリマスカラ、ソレデ婦人ノ啓蒙運動、政治的訓練ガ必要デアルト云フヤウニ考ヘルカト云フコトヲ御尋ネ申シマシタ處、文部省トモ協力シテヤツテ居ル、又内閣ニ於テモ政治啓蒙運動ヲ給メテ居ルト云フヤウナ御話ヲ伺ヒマシテ、大イニ意ヲ強ク致シタノデアリマスガ、何ト申シマシテモ、全然政治的訓練ヲ經テ居ナイ婦人ノ問題ハ、ドウシテモ學校教育ニ依ツテ之ヲヤラネバ達成スルコトガ出來ナイと思フノデアリマスガ、ソレデ例ヘバ公民科ト云フヤウナモノハ、學校ニ依ツテハ設ケテアツテ、サウ云フ自治行政ト云フヤウナコトヲ教ヘテヤルト云フコトモ開イタコトガアリマスガ、兎ニ角先ヅ女學校トカ、或ハソレ以下ノ學校デモ婦人ノ政治上ノ知識ヲ與ヘル何等カノ教育ヲバヤル必要ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマスガ、文部大臣ニ於ケレマシテハ、此ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ラレマスカ、又何等カ御實施ニ相成ツテ居リマスカ、御伺テ致シマス。

○國務大臣(田中耕太郎君) 學校教育ノ面ニ於ケリマシテハ、女子教育ノ發展ノ一部分ト致シマシテ、女子ニ對スル公民教育ヲドウヤツテ行クカト云フコトデアリマスガ、殊ニ御質問ニアリマシタ點ハ、女學校ノ程度、或ハ專門學校ト云フヤウナコトニナリマスガ、特ニ女學校ノ教育ハ現在御承知ノヤウニ、中學校ト女學校ヲ比較シテ見マスルト、女學校ノ方ガ程度ガ低イコトニナツテ居リマス、是ハ障礙ガナイデハアリマセヌケレドモ、同一水準ニ迄引上ゲルト云フコトニ努力ヲ致シテ居リマス、ソレカラ地方婦人ニ對シマスル政治的ノ啓蒙運動デアリマスガ、是ハ婦人ノミナラズ、一般ニ社會教育ヲ徹底スル努力ヲ有ラヌル方面カラ致サナケレバナラナイ、其ノ社會教育ノ一環ト致シマシテ公民教育ノ普及及徹底ヲ圖リタイト思フテ居リマス、公民館ハ大分名稱ハ普及及致シマシタケレドモ、實際各町村ニ一々充實シタモノガ設ケラレテ居ル譯デアリマセヌ、唯是ハ文部省ト致シマシテハ、勸奨ヲスル、奨メテ居ルト云フヤウナ程度ニ止ツテ居リマス、之ヲ將來國庫補助デモ得ラレ、バモツト十分普及出來ルノデハナイカト思フテ居リマス、併シ矢張り地方ガ關心ヲ持ツテ公民館ノ育成ト云フコトニ力ヲ注イデ呉レナケレバナリマセヌ、其ノ公民館ト云フモノガ出來マス、矢張り各地方ニ於ケリマシテ、婦人ノ政治的ノ啓蒙ヲ得ルコトニ付テ「女学校」ニナリマス、政治的ノミナラズ、或ハ婦人ノ主婦トシテ持タナケレバナラナイ知識等モ與ヘルコトガ出來ル譯デアリマス、尙學校ニ於ケリマシテハ、母親學校トカ、或ハ良婦學校ト云フヤウナモノヲ設ケテ、是ハ矢張り單ナル家庭的ノコトバカリデハナク、「シティズン」トシテ、公民トシ

テノ知識ヲ與ヘルト云フヤウナコト。ヤラナケレバナラナイト云フヤウニ存ジテ居リマス。

○山陽康君 甚ダ繰返シテ御面倒ダト思ヒマスガ、此ノ府縣制ノ改正案ノ第七十四條ノ二ニ、「府縣ニ府縣知事ヲ置ク」トアリ、其ノ次ノ「府縣知事ハ官吏トス」ト云フコトヲ割ツテ居リマス、此ノ知事ハ結局七十四條ノ五ニ依ツテ當選シタ決定スル、ソコデ此ノ規定ニ依リマスレバ、投票シテ當選スレバ直チニ公吏タル身分ヲ獲得スル、是ハ市長デモ村長デモ同様デアツテ、是ハ別ニ選舉シテ公吏ト云フ身分ヲ新タニ附與スルト云フ規定ハナイ、當選シタナラバ直チニ公吏タル市長ニナル、或ハ直チニ村長ニナル、ソコデ府縣知事ニ對スル投票ノ終ツテ當選スレバ直チニ是ハ知事トナリ公吏ナル譯デアリマス、官吏トナル機會ハナイヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ。

○政府委員(郡祐一君) 法律ノ規定ニ付テノ御尋デゴザイマスノデ私カラ御答サシテ戴キマス、御指摘ノヤウニ、七十四條ノ二ニ、府縣知事ヲ置クト云フ規定ヲ嚴キマシテ、衆議院ノ修正デ「官吏トス」ト云フ第二項ヲ削ツテアルノデアリマス、併シナガラ是ハ附則ニ於ケリマシテ、其ノ官吏ト致シマスル期間ヲ改正憲法施行ノ日迄ト限定致シテ居リマスガ、五十三頁ノ末尾カラ三行自ニ左様ニナツテ居リマス、且是ハ此ノ七十四條ノ二以下ヲ御覽ニナリマシテモ、官吏ヲ前提ト致シマシテソレハ規定ガ出來テ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ憲法施行後ニ於ケリマシテハ、是ハ當然身分ガ切替ヘラレマスルカラ、是等ニゴザイマスル本文モソレハ改正憲法サレコトヲラウト存ジテ居

リマス、只今ノ改正法ニ於ケリマシテハ、七十四條ノ二ノ新シイ三項ニゴザイマスルヤウニ、府縣知事ノ選舉セラレマシタ者ニ付テ任命ノ行爲ガアリノデアリマスガ、御指摘ノ七十四條ノ五デアリマスガ、之ニ依リマシテ當選者ガ決定致シマスレバ、ソレハ候補者ノ中ニ付テ、當選者ガ決定致シ、從ヒマシテ其ノ瞬間ニ公吏タル身分ヲ取得スルト云フヤウナコトハゴザイマセヌデ、當選者ガ決マリ、ソレニ付キマシテ任命行爲ガアリマシタ時ニ官吏ト云フ身分ヲ取得スルノデアリマシテ、改正憲法施行ノ日迄ノ間ニ於ケリマシテハ左様ナ運用ヲ致シテ參ルコトヲ考ヘテ居リマス。

○山陽康君 ソレデハ宜シウゴザイマス、ソレカラ是ハドウ云フ趣旨ニナリマス、七十四條ノ二ノ三項デスカ、「府縣知事ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人ヲシテ選舉セシメ其ノ者ニ就キ之ニ任ズ」、是ハ只今憲法ノ效力ノ發生スル迄ノ完全デアアルカラ「之ニ任ズ」ト云フコトデアリマスガ、是ハ官吏ト云フ身分ヲ失フ後ニ於テハ同時ニ「之ニ任ズ」ト思ヒマスガ……

○政府委員(郡祐一君) 先程松尾サンヘノ御答辯ニ申上ゲマシタヤウニ、此ノ地方制度ノ改正法律ハ現行憲法ノ下ニ於テ改正致サレタモノデアリ、從ヒマシテ資格要件ニ付キマシテハ憲法十條ガ働イテ參リマスルガ、天皇ノ任命大權ニ基カザル官吏ト云フ者ハアリ得ナイ、從ヒマシテ七十四條ノ二ノ三項ニアリマスルヤウニ、斯様ナ選舉ト云フ資格要件ニ付キマシテハ選舉ノ手續ヲ經マシテサウシテ官吏ニ任命致サレルト、斯様ニ七十四條ノ二ノ三項ハ規定セサレテ居ルノデアリマス、從ヒマ

シテ御尋ノ憲法施行後ハドウナルカ、是ハ只今ノ市長若シハ町村長ト同ジ形ニ相成ルモノト考ヘテ居リマス。

○山陽康君 サウスルト憲法ガ效力ヲ發生シタ時ハ「之ニ任ズ」ト云フノハナクナルノデスカ。

○政府委員(郡祐一君) 是ハ先程大臣カラ御説明ガアリマシタヤウニ、第二次改正ガ行ハレマス際ニハ當然此ノ條文ハ變ツテ參ルモノデアリマス。

○山陽康君 甚ダ縮減デスカ、實ハ豫算總會等ノ爲ニ是等ノ書類ヲ通讀スル時間ヲ持ナイモノデスカ、本日ハ此ノ程度デ、又明日開イタラ如何デセウカ。

○委員長(白根竹介君) 皆サンノ御都合ハ如何デセウカ。

○子爵森俊成君 果今ノ御質問ニチヨツト關聯シテ御聽キシタイノデスカ、僅カデスカラ此ノ際質問致シマスガ、只今教育方面ニ付キマシテ地方分權ノコトハ山陽サンカラ御話ガアリマシタガ、私ハ是ト同ジヤウナコトデアリマス、スケレドモ、モツト範圍ヲ廣ク一般ノ經濟上、教育上、衛生上、サウ云フ方面カラ見マシテモ、餘リニ總テノ制度ナリ知識ナリト云フ風ナモノガ從來ノ日本トシテ都市集中主義ニ傾キ過ギハシナイカ、餘リニ都市中心主義ト申シマス、ソレニ傾キ過ギテ居マイカ、從ツテ人材ガ都市ニ集マリ、資本ガ都市ニ集マリ、其ノ結果ハ地方ト云フモノハ段々疲弊シテ來ル、日本全體ト云フ見地カラ見レバ是ハ餘リ面白クナイ傾向デアアルマイカト斯ウ考ヘマス、ソコデ内務大臣ノ御考トシテハ斯ウ云フ風ナ色々施設ナリ、制度ナリト云フモノヲ地方ニ段々分散サセテ行クト云フ風ナコトハ如何ニ御考ニナリマス

シテ御尋ノ憲法施行後ハドウナルカ、是ハ只今ノ市長若シハ町村長ト同ジ形ニ相成ルモノト考ヘテ居リマス。

○山陽康君 サウスルト憲法ガ效力ヲ發生シタ時ハ「之ニ任ズ」ト云フノハナクナルノデスカ。

○政府委員(郡祐一君) 是ハ先程大臣カラ御説明ガアリマシタヤウニ、第二次改正ガ行ハレマス際ニハ當然此ノ條文ハ變ツテ參ルモノデアリマス。

○山陽康君 甚ダ縮減デスカ、實ハ豫算總會等ノ爲ニ是等ノ書類ヲ通讀スル時間ヲ持ナイモノデスカ、本日ハ此ノ程度デ、又明日開イタラ如何デセウカ。

カ、餘ニ都市集中主義ニナツテ來ルト
都市ハ繁昌スルケレドモ、地方ガ疲弊
シテ行クト云フヤウナ傾向ニアルマイ
カト云フヤウナコトヲ御考ニナツタカ
ドウカ、是ハ大臣トシテハ無理カモ知
レマセヌケレドモ……

○國務大臣(大村清一君) 只今ノ森子
爵ノ御尋ハ誠ニ御尤デアリマス、私モ
全ク御同感ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、現在内務省ニ於キマシテハ官制ニ
依リマシテ、國土計畫ヲ所管スルコト
ニナツテ居リマス、今日ノヤウナ事態
ニナリマシテ内務省ガ國土計畫ヲ所管
シテ居ルコトノ否ニ付キマシテハ、
世間ニモ色々論議ガアルヤウデアリマ
スガ、兎モ角モ内務省ガ所管致シテ居
リマス、現ニ只今御尋ニナリマシタ點
ヲモ含メテ、終戦後ノ事態ニ即シマ
シテ國土計畫ヲ進メナケレバナラヌト
云フヤウニ考ヘマシテ、各方面カラ材
料モ集メ、當務者ニ於キマシテ色々
研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シ
テ其ノ研究ノ一端ガ新聞ニ掲載セラレ
タヤウナコトデアリマシテ、ソレガ機
會ニナツテ國土計畫ニ付テノ論議ガ色
色ト社會ニ活潑ニナツテ來タヤウデア
リマス、アノ中デモ御覽下サツタコト
ト思ヒマスガ、過大都市ヲ抑ヘテ、又
地方ニ農村工業乃至ハ中小工業ヲ分散
サセル、一面ニ於キマシテハ農業ノ發
達ヲ圖ルト云フヤウナコトニ依リマシ
テ、終戦後八千萬ト云フ國民ヲ全國ニ
適當ニ配置シ、サウシテ從來都市偏重
ニ日本ガ發達シテ來タ弊ヲ矯メマシ
テ、地方ニモ文化ノ惠澤ガ行キ渡ルヤ
ウ、又青年ヤ一般人ニ對シマシテ色々
ノ修養ノ機會ヲ與ヘル、又高尚ナル娛
樂ヲ樂シマセルト云フヤウナコトニ付
キマシテモ實ハ施策致スベキデアル、

ソレ等ノコトガ國土計畫ノ基本事項ト
シテ採上ゲラルベキデハナイカト云フ
ノ折角研究ヲ進メテ居ル次第デアリマ
ス、併シ此ノ國土計畫ト云フヤウナ大
キナ問題ニ付キマシテハ、内務省ダケ
ノ研究デハ到底完壁ヲ期セラレルモノ
デハゴザイマセヌカラ、政府ハ近ク國
土計畫審議會ト云フヤウナモノヲ創設
致シマシテ、ソレヲ中心ニシテ將來ノ
日本ノ發展ニ付テノ根本ヲ策定シヨウ
ト云フコトニナツテソレヲ進メテ居ル
次第デアリマス、誠ニ御尤モナコトデ
アリマス、尙又山隈サンカラ御尋ガア
ツタコトデアリマスガ、地方制度ノ上
ニ於キマシテモ、今次御審議ヲ願ツテ
居リマス所ノ改正案ハ今日ノ事態ニ於キ
マシテ可能デアリ、必要ナ限度ニ於ケ
ル民主化ヲ策シタモノデアリマシテ、
追ツカケ第二次民主化案モ考ヘナケレ
バナラヌコトニ相成ツテ居ルノデアリ
マシテ、政府ト致シマシテハ將來地方
制度ノ第二次の改正案ヲ調査立案致シ
タイト思ツテ居リマス、之ニ付キマシ
テハ地方分權及ビ地方自治ノ本旨ニ基
キマシテ、地方自治團體ノ組織運営ニ
關スル自主性ヲ更ニ徹底セシメマスル
ト共ニ、警察、教育、保健、衛生、財
政、勞働等ノ國政ヲ原則トシテ地方自
治團體ニ委譲シ、其ノ地方自治團體ノ
指揮監督下ニ置キタイ、サウシテ中央
政府ハ是等ノ事務ニ付キマシテハ全國
ノ基準ヲ設ケルトカ、或ハ各地方團
體間ノ調整ヲスルトカ、又情報ヲ集メ
ルトカ、其ノ集メマシタ情報ヲ各地方
團體ニ配付スルト云フヤウナ程度ノ仕
事ヲスルコトニ止メルト云フ方針デ以
テ改正ヲ致シタイ、此ノコトニ付キマ
シテハ他ノ各省ニモ關係ノアルコトデ
アリマシテ、此ノヤウナコトヲ衆議院

ニ於キマシテ實ハ内務大臣カラ聲明ヲ
致シタノデアリマスガ、聲明致スニ付
キマシテハ閣議ノ了解ヲモ得テ居ル次
第デアリマシテ、只今仰セニナリマシ
タ點ハ國土計畫ノ上ガ扱ヒタイ、地方
制度ノ上ニ於キマシテモ森子爵ノ仰セ
ニナリマシタヤウナ方法ニ向ツテ更ニ
第二次の地方制度ノ根本の改正モ致
シタイ、ソレ等ニ依ツテ其ノ目的ヲ達
スルヤウニ致シタイト云フ風ニ考ヘテ
居ル次第デアリマス

○委員長(白根竹介君) 本日ハ此ノ程
度デ散會致シマス、明日ハ本會議ガゴ
ザイマス、議事散會後直チニ此處
ヘ參集シマシテ、審議ヲ進メタイト思
ヒマス

午後二時四十一分散會
出席者左ノ如シ

- | | |
|------|-----------|
| 委員長 | 白根 竹介君 |
| 副委員長 | 男爵伊江 朝助君 |
| 委員 | 侯爵德川 頼貞君 |
| | 侯爵佐竹 義榮君 |
| | 子爵森 俊成君 |
| | 子爵梅園 篤彦君 |
| | 子爵松平 純之助君 |
| | 子爵田中 蕨君 |
| | 子爵植松 雅俊君 |
| | 姉崎 正治君 |
| | 中田 蕨君 |
| | 男爵尙 琳君 |
| | 男爵島津 忠彦君 |
| | 男爵多久 龍三郎君 |
| | 中川 望君 |
| | 松尾 國松君 |
| | 山隈 康君 |
| | 河端 作兵衛君 |
| | 渡邊 覺造君 |

- | | | |
|------|-------|--------|
| 國務大臣 | 內務大臣 | 大村 清一君 |
| | 文部大臣 | 田中耕太郎君 |
| 政府委員 | 內務事務官 | 郡 祐一君 |
| | | 鈴木 俊一君 |